

# 令和5年度 神戸 2025 ビジョン推進会議

日 時：令和5年11月14日（火）15:00～

場 所：神戸国際会館9階 大会場

## 議 事 次 第

（配付資料）

1 開会	資料1 神戸2025ビジョン推進会議委員名簿
2 議事	
（1）令和4年度の社会経済情勢と主な取組・KPI等	資料2 令和4年度の社会経済情勢と主な取組・KPI等
（2）現行「基本構想」の振返り	資料3 現行「基本構想」 資料4 現行「基本構想」振返り資料
3 閉会	
	参考資料1 神戸2025ビジョン 数値目標・KPI実績一覧表（令和4年度）
	参考資料2 次期「基本構想」の意見収集 【令和5年10月 総務財政委員会資料】
	参考資料3 1993年と現在の比較
	参考資料4 デジタル田園都市国家構想交付金 実績シート（令和4年度）
	参考資料5 企業版ふるさと納税 実績シート（令和4年度）

## 神戸2025ビジョン推進会議 委員名簿

## 会 長（敬称略）

神戸大学大学院 法学研究科 教授

しなだ ゆたか  
品田 裕

## 委 員（五十音順、敬称略）

甲南大学 経済学部経済学科 教授

いしかわ のりこ  
石川 路子

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 理事

いながき けんいち  
稲垣 賢一

同志社大学 社会学部社会福祉学科 准教授

おの セレスタ まや  
小野 摩耶

ネスレ日本株式会社 執行役員

かのう みき  
嘉納 未来

欠席

コーポレートアフェアーズ統括部長

lavieestbelle 株式会社

かやま なお  
佳山 奈央

「おやこの世界をひろげるサードプレイス PORTO」代表

西日本旅客鉄道株式会社 理事

くにひろ しょうじ  
國 弘 正治

(近畿統括本部副本部長・兵庫支社長)

株式会社三井住友銀行 公務法人営業第二部 副部長

さかい たかし  
酒井 俊

iC 株式会社 代表取締役

きごう じゅん  
佐合 純

特定非営利活動法人 Oneself 理事長

なかの みゆき  
中野 みゆき

連合神戸地域協議会 議長

はせがわ たかゆき  
長谷川 孝之

欠席

公益財団法人 神戸市民文化振興財団 理事長

はっとり こうじ  
服部 孝司

欠席

兵庫県中小企業家同友会 代表理事

ふじおか よしみ  
藤岡 義己

# 令和 4 年度の社会経済情勢と主な取組・KPI等

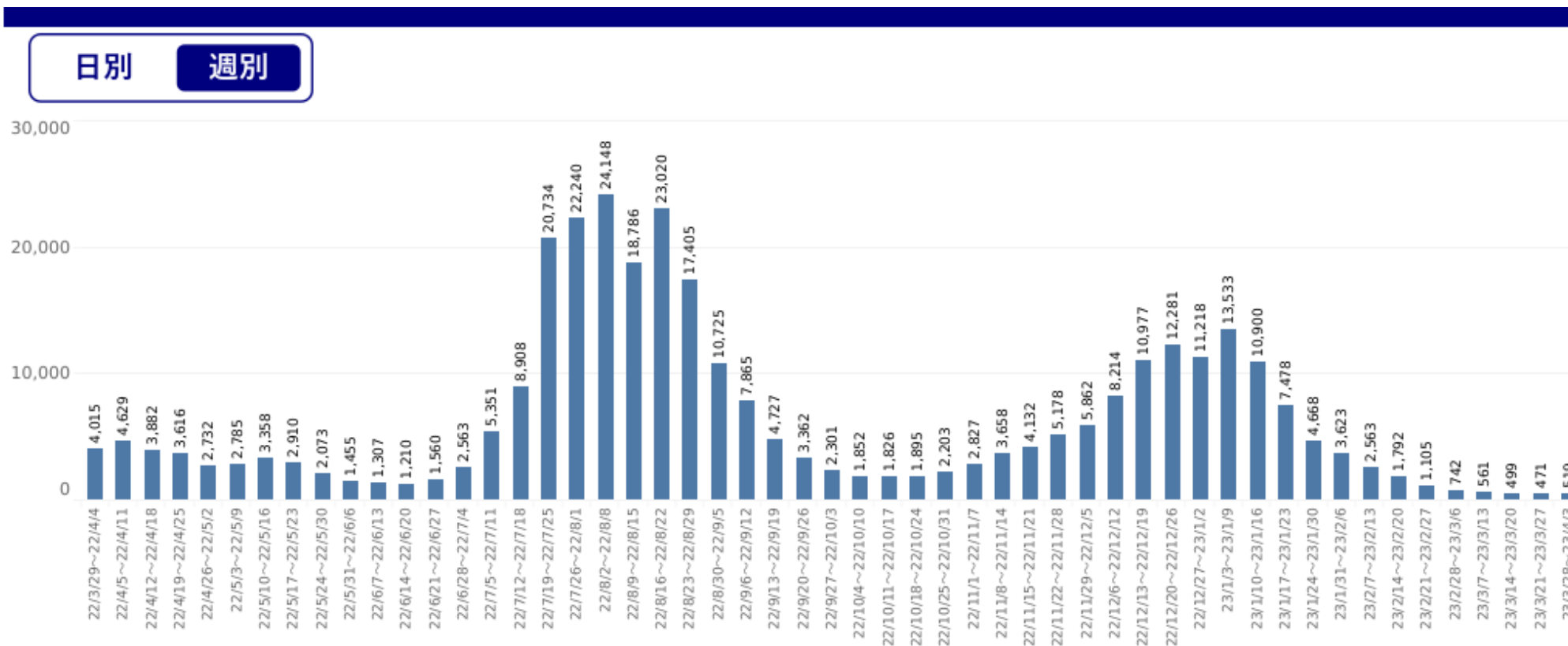
## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 主な社会経済情勢

# 新型コロナウイルス感染症の状況

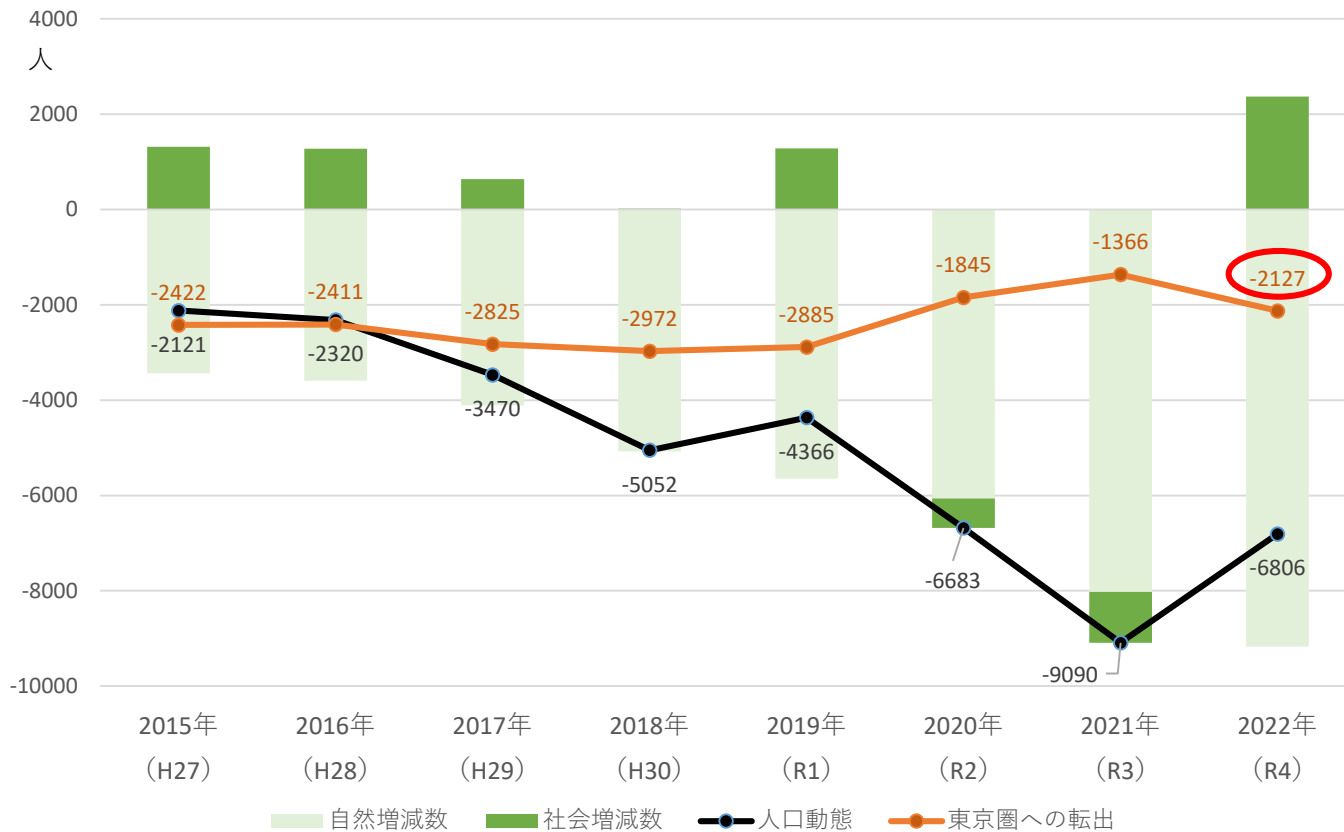
- ▶ 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返される中、ウクライナ情勢を契機とした原材料価格高騰及び円安の進行等が拍車をかける形で市民生活・市民経済に大きな影響が及ぼされた。
- ▶ 国においては新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを5類感染症に変更する方針が決定された。  
(令和5年3月にマスク着用要否が個人判断に、令和5年5月に5類感染症移行)



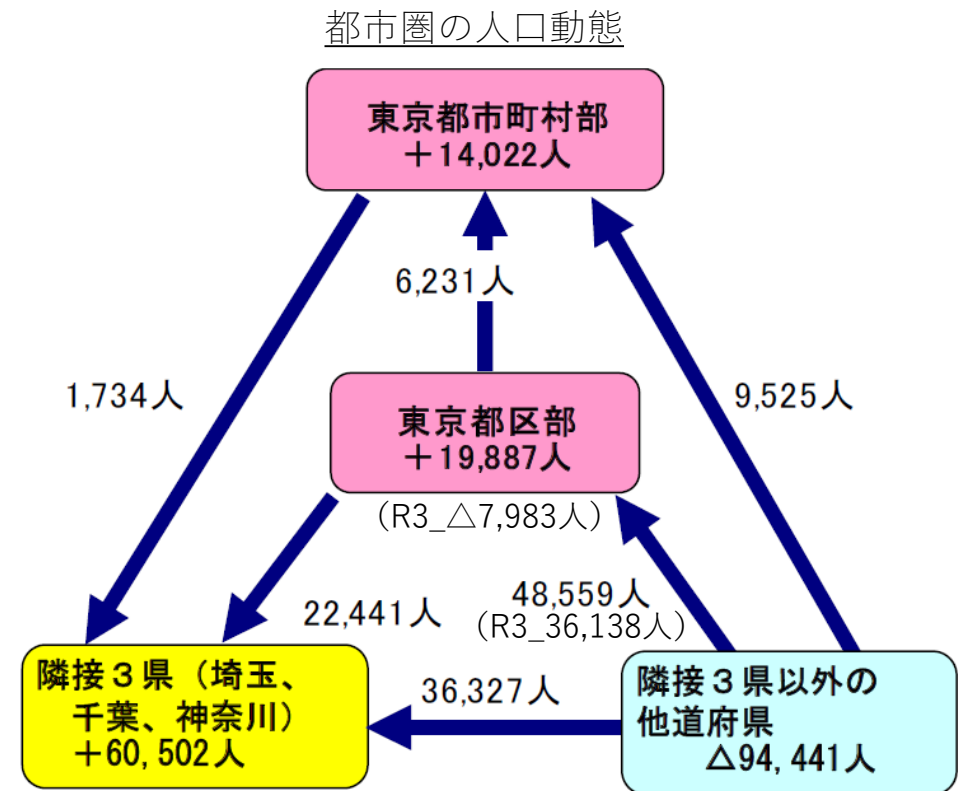
# 人口動態

- ▶ 11年連続の人口減少、自然減少の影響が著しいものの社会増減数は3年ぶりに社会増加に転じる。
- ▶ 新型コロナウイルスによる行動制限の漸進的緩和等によって神戸市から東京圏への転出は前年より拡大。
- ▶ 東京都区部・市町村部ともに転入超過となり前年に比べて約23,000人増加、東京圏全体においても転入超過。

人口動態と東京圏への転出超過数



出典：神戸市人口動態

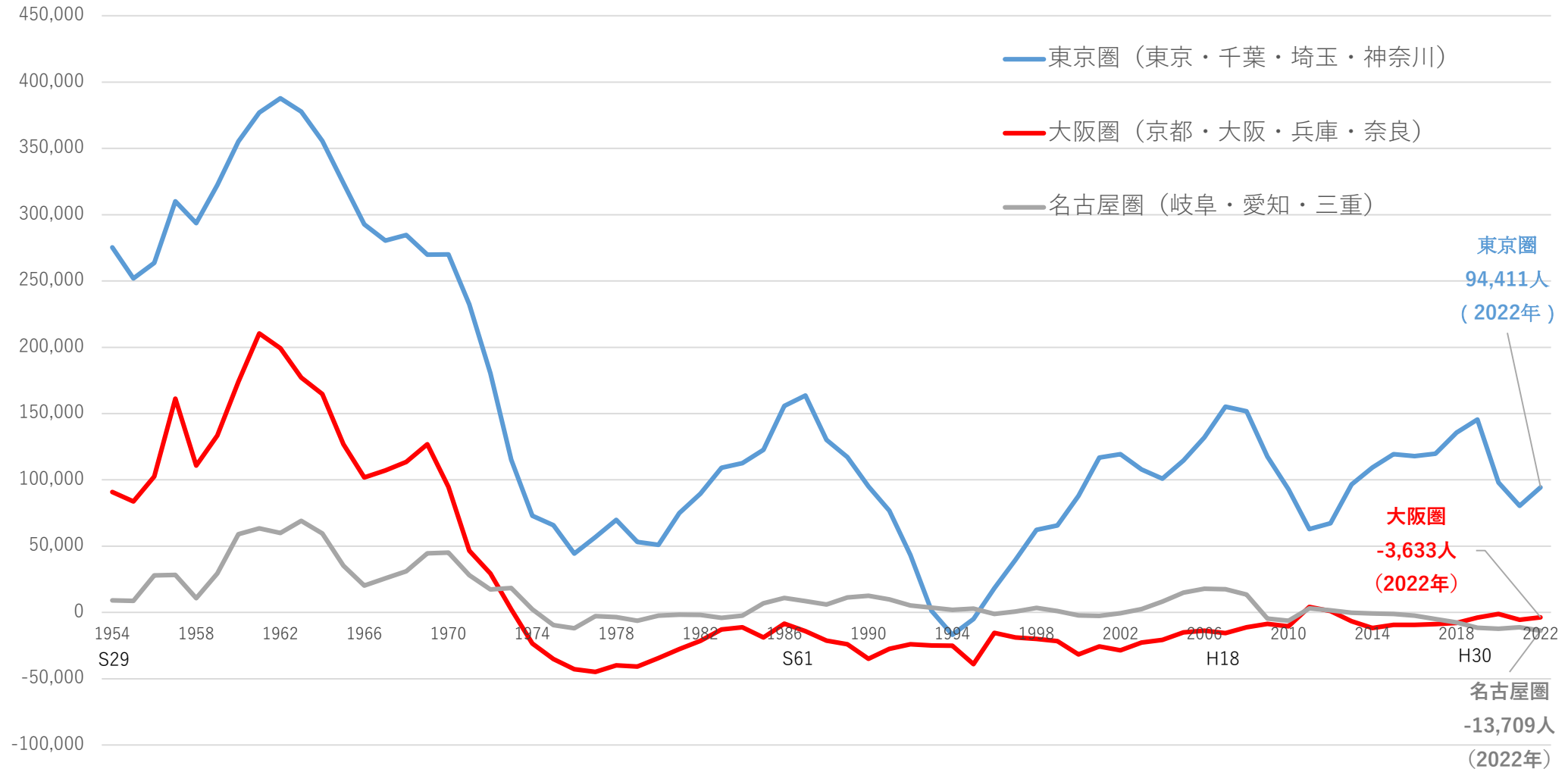


出典：東京都住民基本台帳人口移動報告（日本人のみ）（令和4年）

# 東京一極集中の状況（人口）

➤ 都市圏単位でも一極集中は続いており、東京圏は増加傾向に転じる。

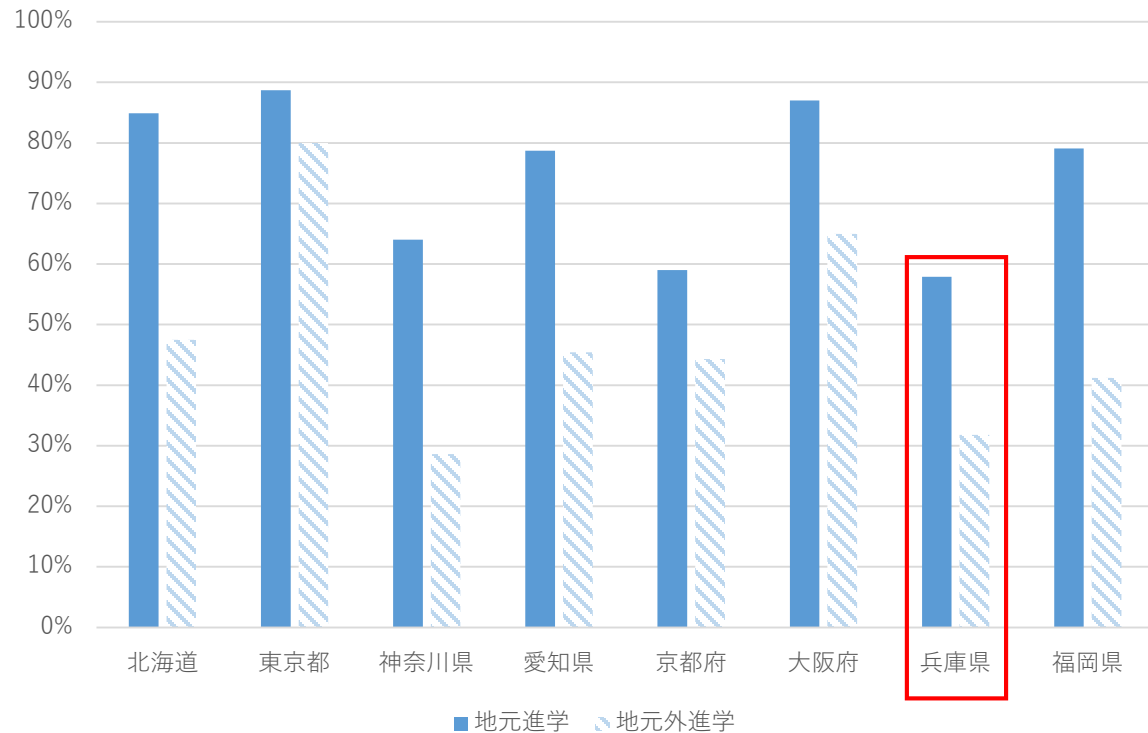
三大都市圏の転入超過数の推移



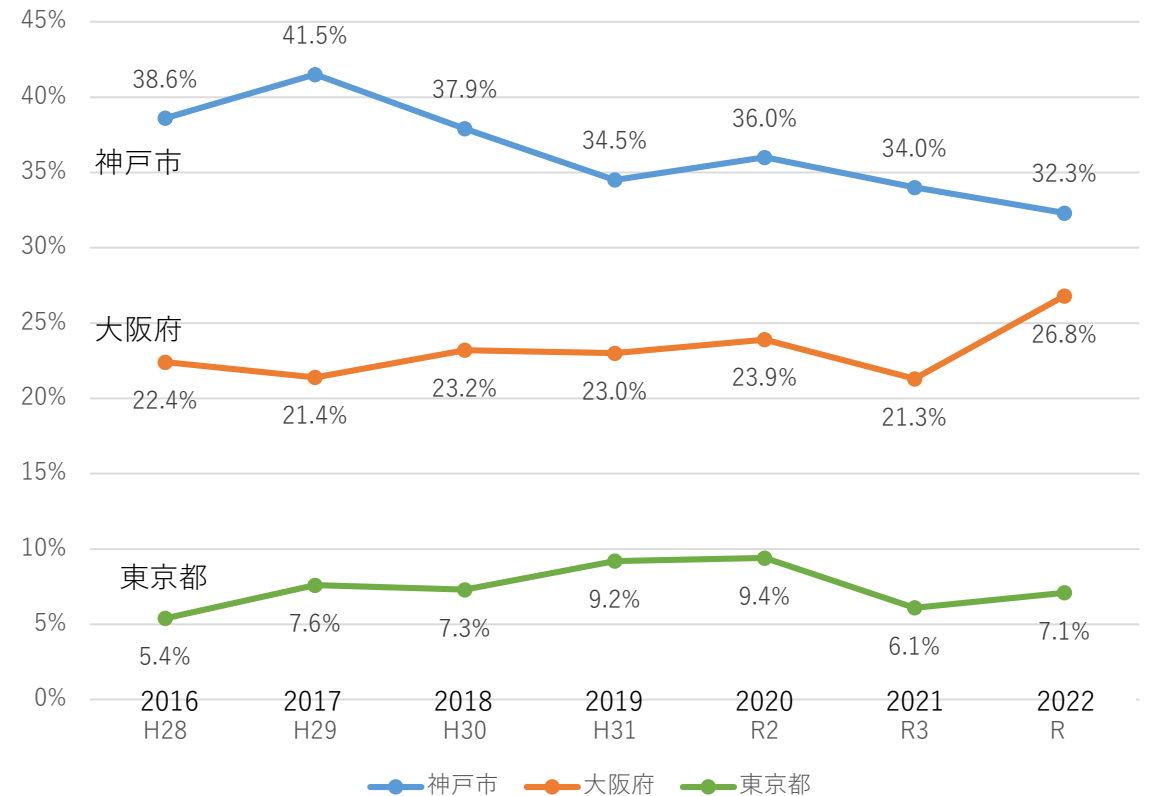
# 大卒の就職希望状況

- 県全体で見ると、地元での就職希望割合は他の都市より低い傾向を示している。
- 本市の大学生アンケートにおいては、神戸市を勤務希望地と答えた大学生が3割程度となっている。

地元就職希望の割合



就職活動を始めた時点で希望していた勤務地





# 東京一極集中（企業）

- 全国の企業の構成比を見ると、東京都が全国の半分強のシェアを占める傾向が継続。
- 政府によるデジタル化推進及び財政支援の拡充による首都圏への一極集中是正、地方創生が期待される。

都道府県	四季報オンライン2023年の本社数		四季報21年1集の本社数		四季報01年1集の本社数		21年1集からの増減		01年1集から21年1集までの増減		主な上場企業
	本社数	構成比 (%)	本社数	構成比 (%)	本社数	構成比 (%)	本社数	構成比 (pt)	本社数	構成比 (pt)	
東京都	2,129	53.8	2,029	53.4	1,591	45.6	100	0.4	438	7.8	ソフトバンクG、ソニー
大阪府	431	10.9	434	11.4	499	14.3	-3	-0.5	-65	-2.9	キーエンス、ダイキン工業、塩野義製薬
愛知県	221	5.6	222	5.8	219	6.3	-1	-0.3	3	-0.4	トヨタ自動車、デンソー、MARUWA
神奈川県	184	4.7	179	4.7	184	5.3	5	-0.1	-5	-0.6	日産自動車、レーザーテック
兵庫県	107	2.7	106	2.8	115	3.3	1	-0.1	-9	-0.5	シスメックス、川崎重工業、アシックス
福岡県	85	2.1	82	2.2	74	2.1	3	0.0	8	0.0	安川電機、TOTO、九電工
埼玉県	62	1.6	68	1.8	68	2.0	-6	-0.2	0	-0.2	しまむら、丸和運輸機関、キヤノン電子
京都府	62	1.6	63	1.7	68	2.0	-1	-0.1	-5	-0.3	任天堂、ニデック、村田製作所
静岡県	52	1.3	51	1.3	70	2.0	1	0.0	-19	-0.7	スズキ、ヤマハ
北海道	50	1.3	48	1.3	55	1.6	2	0.0	-7	-0.3	ニトリHLD、ツルハHLD
千葉県	49	1.2	49	1.3	47	1.3	0	-0.1	2	-0.1	オリエンタルランド、イオン
広島県	45	1.1	45	1.2	46	1.3	0	0.0	-1	-0.1	中国電力、マツダ、福山通運
新潟県	34	0.9	36	0.9	37	1.1	-2	-0.1	-1	-0.1	コメリ、アクシアル リテイリング、スノーピーク
岡山県	20	0.5	20	0.5	18	0.5	0	0.0	2	0.0	ベネッセHLD、ちゅうぎんFG、大黒天物産
宮城県	19	0.5	20	0.5	23	0.7	-1	0.0	-3	-0.1	東北電力、七十七銀行、カメイ
熊本県	6	0.2	6	0.2	10	0.3	0	0.0	-4	-0.1	九州FG、平田機工
全国	3,954	100	3,800	100	3,486	100	—	—	—	—	—

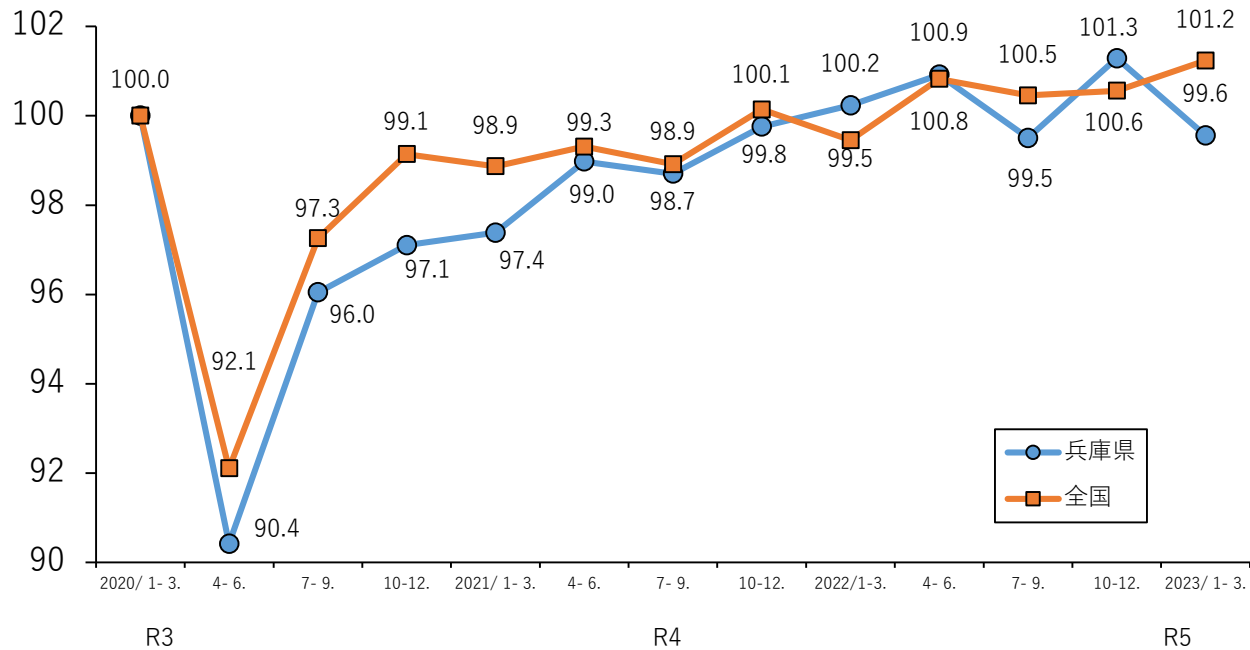
※『会社四季報』の本社住所は本社機能を有する「実質的な本社所在地」で調査しており、登記簿上の本社所在地とは異なることがある。  
 ※2023年の本社数が多い順に記載  
 ※2023年8月15日時点

会社四季報オンラインに掲載されているデータを都道府県別にスクリーニングし件数算出して作成  
<https://shikiho.jp/news/0/405137>

# 経済情勢

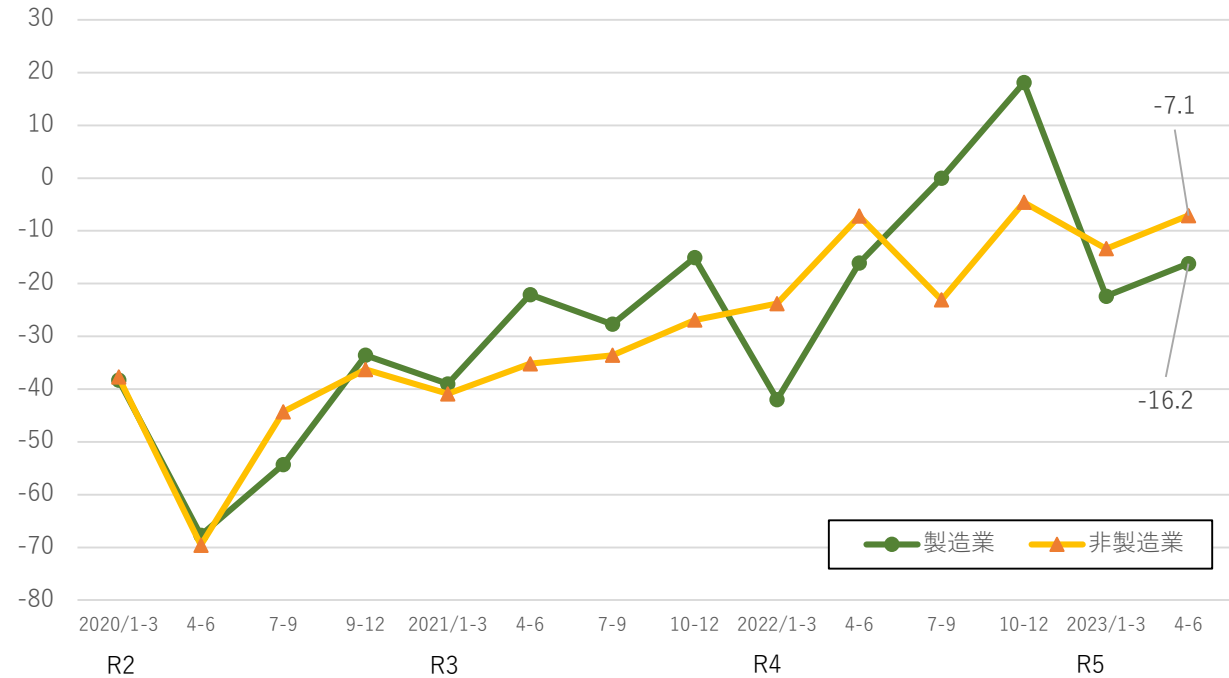
- 実質県内総生産はコロナ禍に大きく落ち込んだものの、2021年10～12月以降はコロナ禍以前の水準へと徐々に回復の傾向を見せており、2022年度においても傾向を維持で推移。
- 景況動向調査でも同様の動きを示しており2021年度より回復傾向にある。

実質県内総生産  
(2020年1-3月を100とした指数。季節調整済み)



出典：兵庫県民経済計算関連データ

神戸市の景況動向調査（生産・売上）

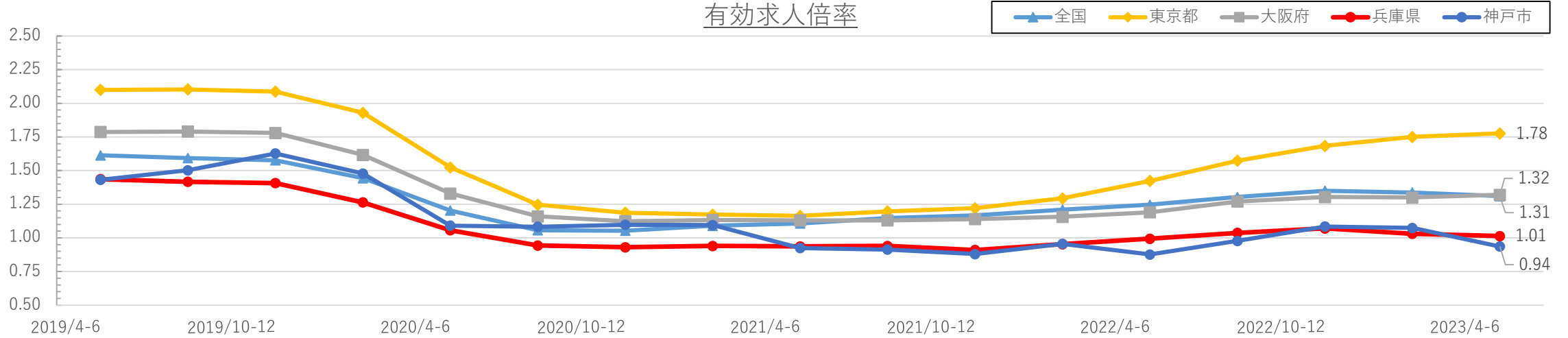


出典：神戸市景況・雇用動向調査

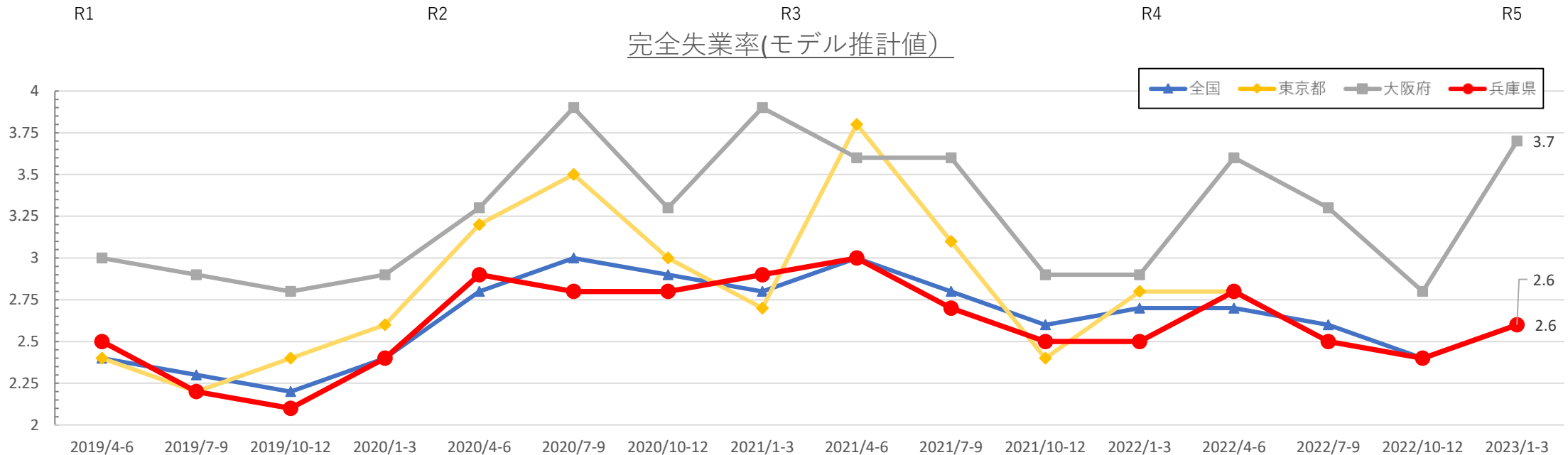
# 経済情勢

▶ 雇用状況はコロナ禍前の水準まで回復していない。

有効求人倍率

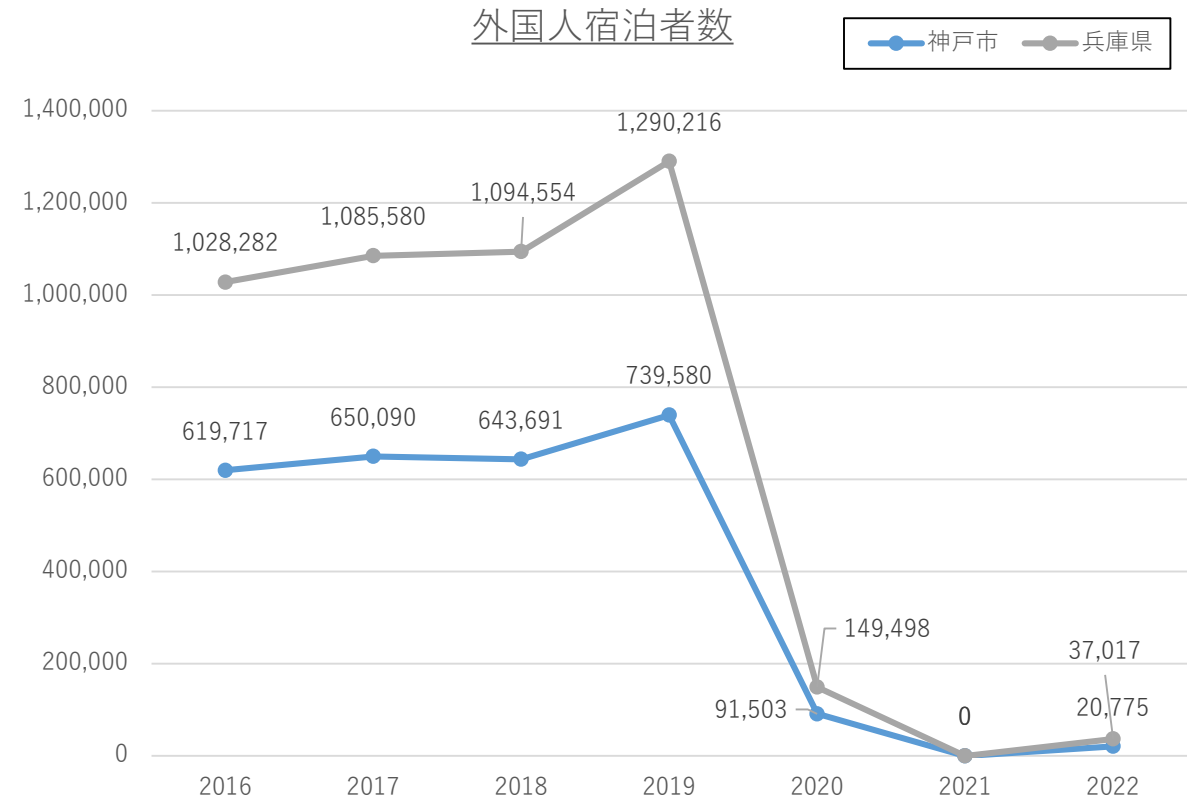
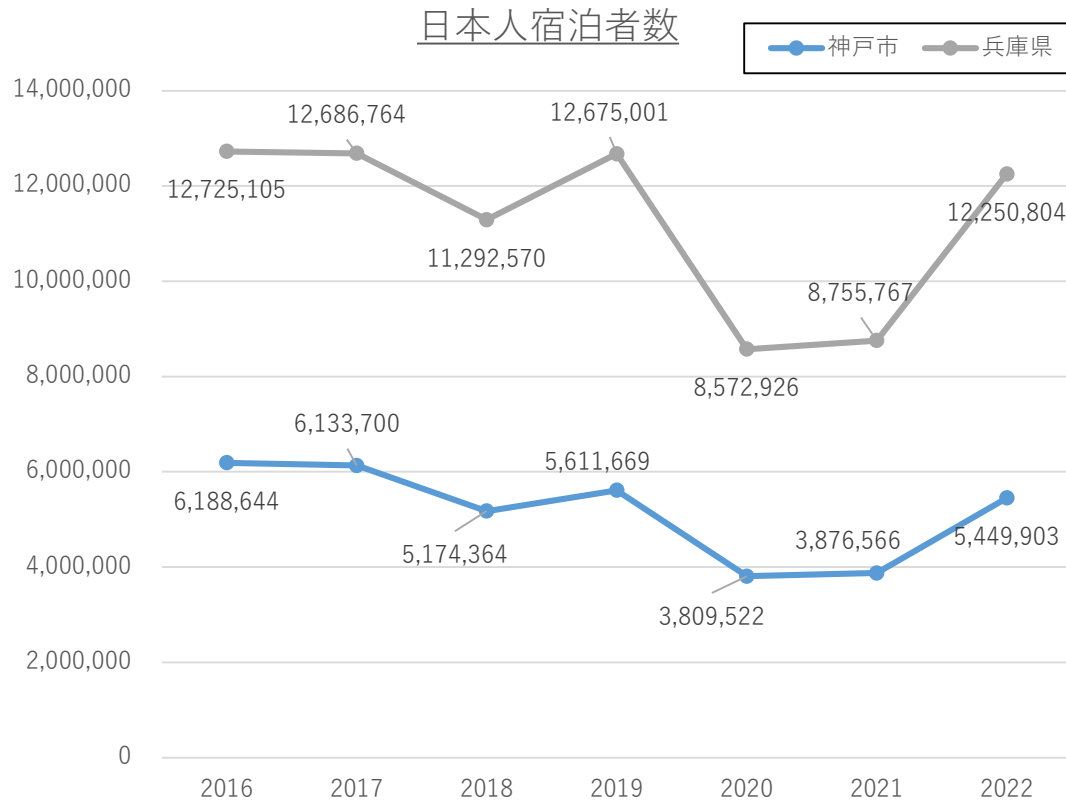


完全失業率(モデル推計値)



# 観光の動向

- ▶ 日本人・外国人宿泊者ともにコロナの影響で大幅に減少していたが、日本人宿泊者数には回復傾向が見られる。
- ▶ 外国人宿泊者数はコロナの影響により落ち込みが回復していない。

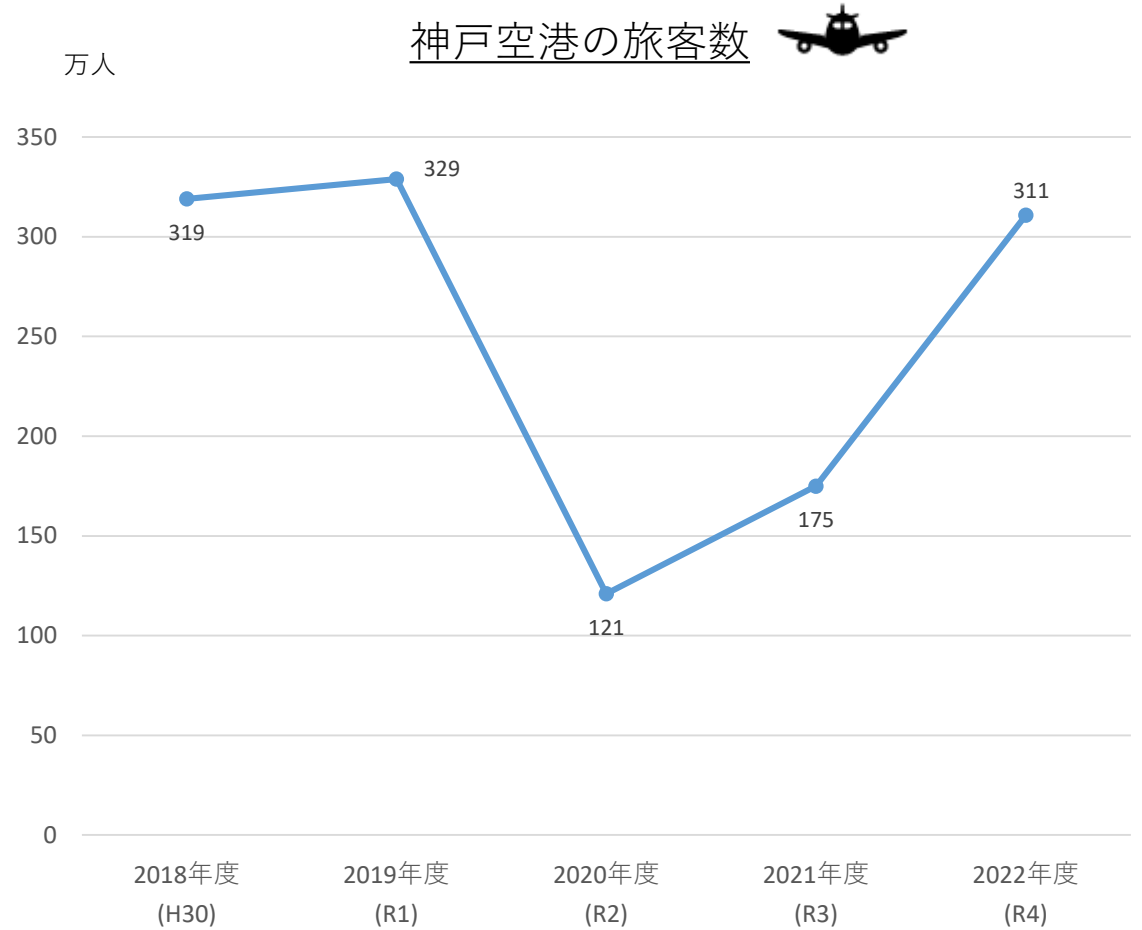
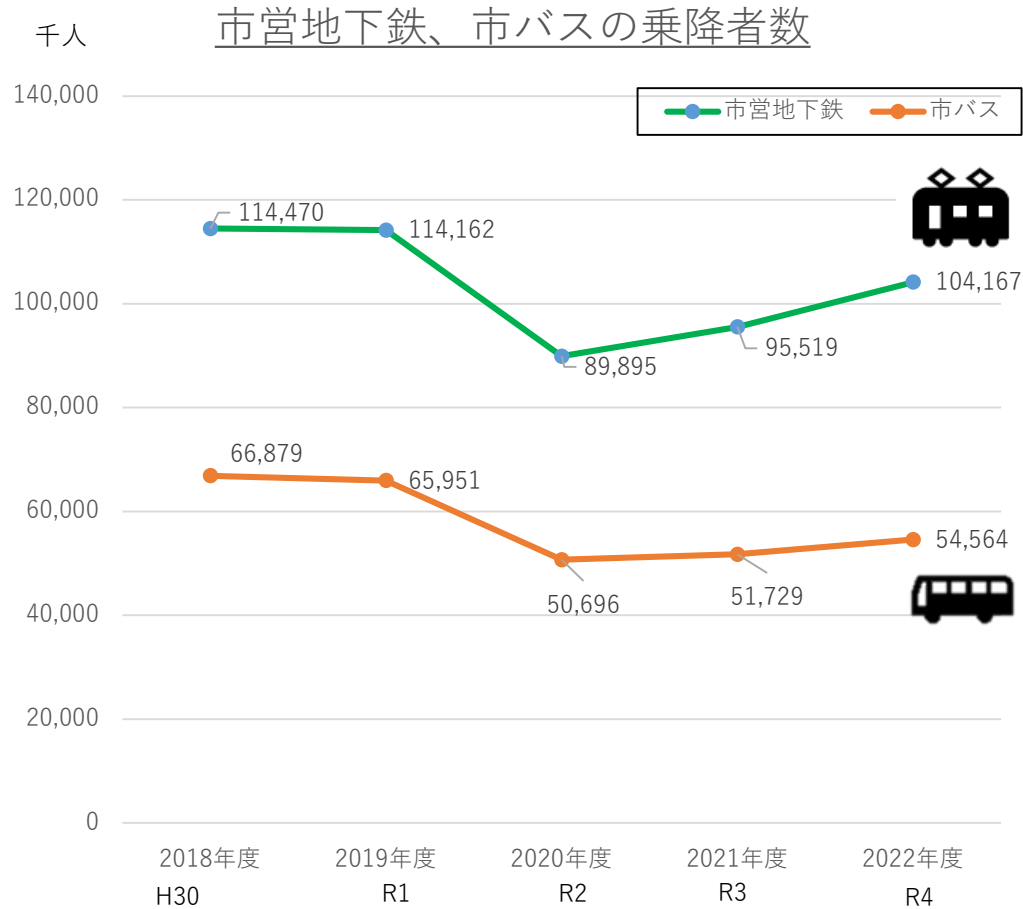


出典：観光予報プラットフォーム推進協議会

※店頭販売、国内ネット販売、海外向けサイトの販売、それぞれの販売を担う企業から収集した約2億件のデータから宿泊実績を推計

# 公共交通の利用状況

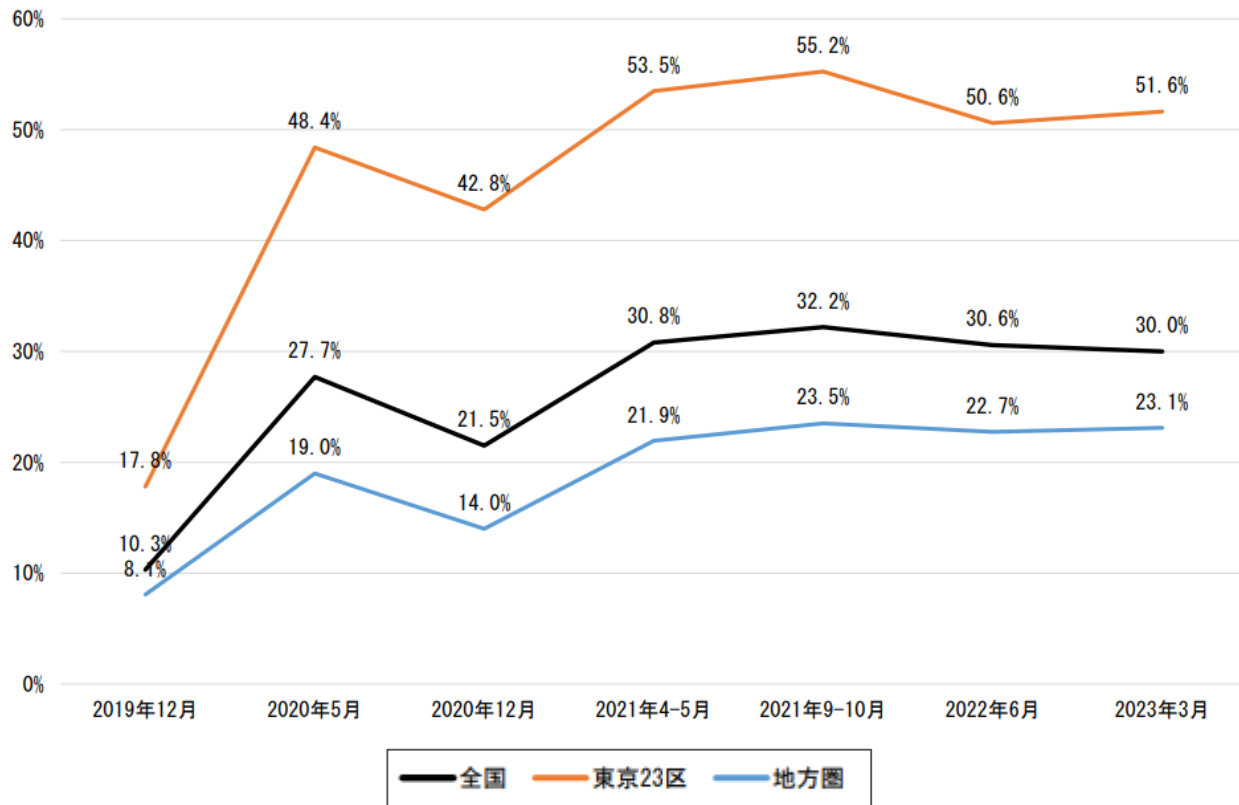
- ▶ コロナで大きく利用状況は減少し、回復の途上。
- ▶ 令和4年度の神戸空港における旅客数はコロナ前の水準まで回復している。



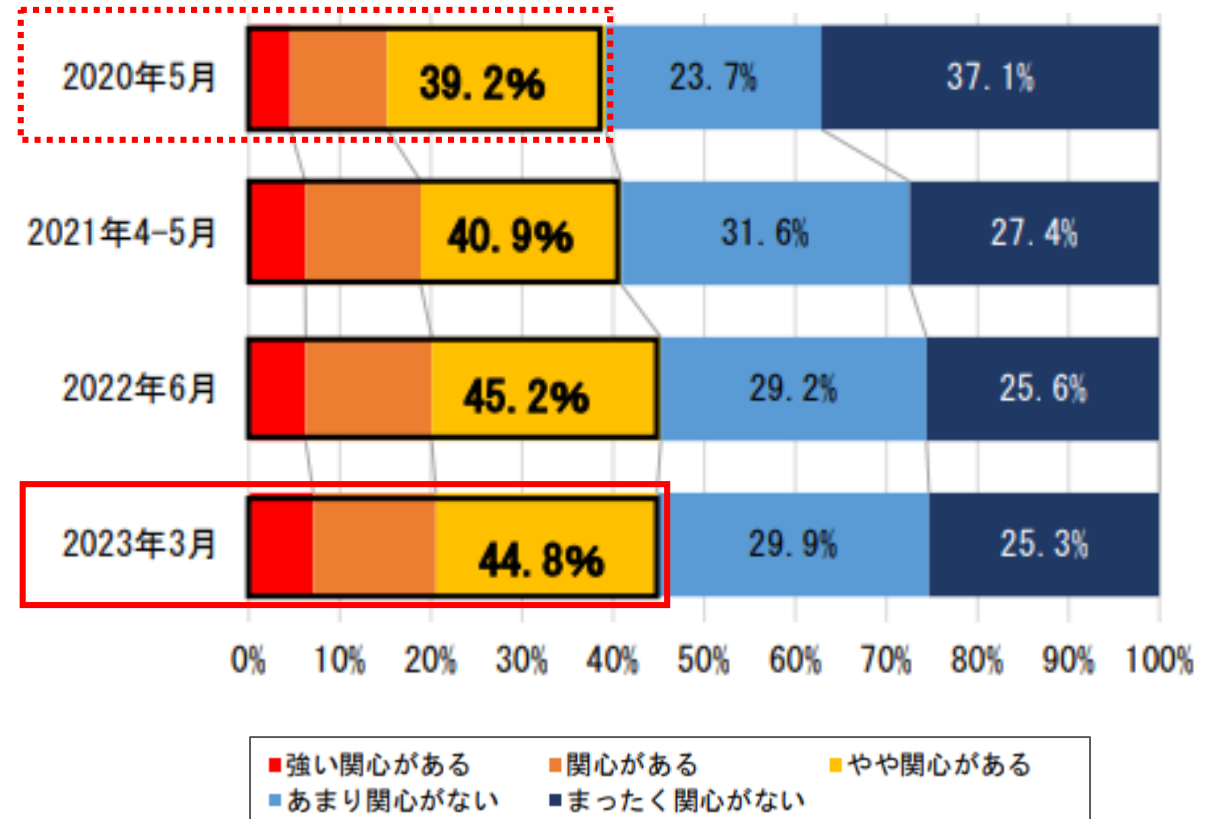
# ライフスタイルの変化

- コロナ禍を契機に東京都23区を中心にテレワークの普及が進んでいる。
- 地方移住への関心がある層が2020年と比較すると5ポイント以上（コロナ以前の2019年比では12ポイント以上）高くなっている。

地域別のテレワーク実施率(就業者)



地方移住への関心（20歳代・東京圏）



# 主な取組と数値目標・KPIの状況



# 基本目標 1 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長



## 令和4年度の主な取組

- ✓ ビジネススクエア「ANCHOR KOBE」を活用したイノベーション創出の推進
- ✓ 「ROKKONOMAD」の運営支援等「六甲山上スマートシティ構想」の推進、都市と六甲山の「2拠点ワークスタイル」の普及促進
- ✓ 子供と一緒に利用できる「あすてっぷコワーキング」の充実、中小企業女性社員向けスキルアップ研修の実施





# 基本目標 1 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
雇用創出数（医療関連企業を含む） （企業誘致に伴うものに限定）	714人	680人	順調	3,400人 ※R3～R7累計
大学生アンケート「勤務希望地を『神戸市』」とした人の割合 （市内大学3、4回生、短大生を対象）	32.3%	39.6%	遅れ	45%以上

主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
①専門家派遣によるITなどの導入件数 （中小企業のDXを支援）	21件	20件	順調	100件 ※R3～R7累計
③域内スタートアップ設立数 （域内…神戸市内）	21社	16社	順調	80社 ※R3～R7累計
④山上オフィス企業会員数 （六甲山上を対象）	67社	140社	遅れ	200社 ※R5年度
⑬女性リーダー育成プログラムの参加者数	51人	50人	順調	250人 ※R3～R7累計

# 基本目標 2 妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実



## 令和4年度の主な取組

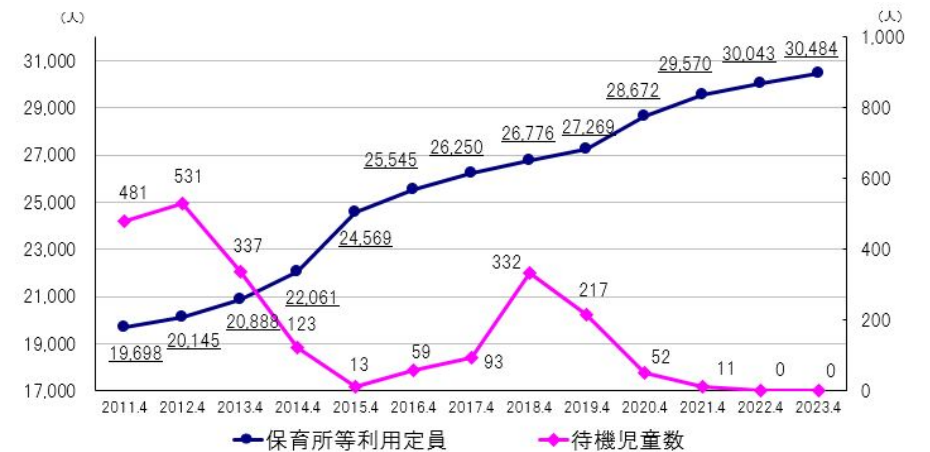
- ✓ こべっこランド・こども家庭センターの移転拡充  
(こべっこランド：約3,600㎡→約4,100㎡、こども家庭センター：約2,600㎡→約5,700㎡)
- ✓ 「おやこふらっとひろば」(中央区・垂水区)、「こべっこあそびひろば」(西神中央)の整備・開設等のこどもの遊び場拠点の整備
- ✓ 待機児童対策、保育ニーズに対応した受け入れ枠の確保(保育所整備による保育定員の拡大)



おやこふらっとひろば中央



こべっこあそびひろば・西神中央

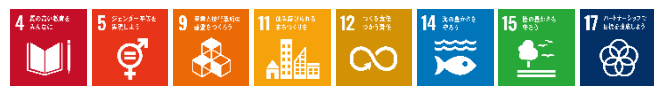


【保育所等利用定員数・待機児童数の推移(各年4月1日時点)】

## 基本目標 2 妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
在住者アンケート「子育て環境が良いまち」「教育環境が良いまち」の評価 (20～39歳の市内在住者を対象)	<b>子育て環境：49.5%</b> <b>教育環境：51.2%</b>	子育て環境：67.0% 教育環境：67.0%	遅れ	ともに70%以上
主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
①待機児童対策（利用定員）	<b>30,484人</b>	30,346人	順調	30,629人 ※R6年度
①子育てリフレッシュステイ事業 （利用者数（延べ））	ショートステイ 1,524人 デイサービス 1,420人	ショートステイ 1,696人 デイサービス 1,792人	順調	ショートステイ：1,355人 デイサービス：1,484人 ※R6年度
①地域子育て支援拠点事業	<b>150箇所</b>	141箇所	順調	141箇所 ※R6年度
④「自分にはよいところがあると思う」児童生徒（小6・中3）の割合 （全国学力、学習状況調査より）	・小6 全国平均：79.3% 神戸市：78.2% ・中3 全国平均：78.5% 神戸市：78.2%	全国平均以上	順調	全国平均以上

# 基本目標 3 多様な文化・芸術・魅力づくり



## 令和4年度の主な取組

- ✓ 神戸歴史遺産の保存と活用（認定・助成）、なでしこ芸術文化センターの開館
- ✓ 市内各所に設置したストリートピアノを活用したにぎわい創出事業の実施
- ✓ 観光誘客と市内周遊を促進するため、著名なアーティストの作品展示や連動したイベントを開催
- ✓ 世界パラ陸上競技選手権大会の開催準備（2024年5月開催予定）





# 令和4年度都心三宮・WF再整備のハイライト



三宮駅周辺歩行者デッキ (R4設計)



自動走行モビリティ「iino type-S712」実証実験 (R5.1)



雲井通5丁目再開発事業(R4.6解体工事着手)



神戸ウォーターフロントビジョン (R4.12公表)



## 基本目標 3 多様な文化・芸術・魅力づくり

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
観光消費額	<b>2,819億円</b>	2,900億円	順調	3,700億円 ※R7年
在住者アンケート「楽しむ場所として魅力的である」の評価	<b>74.3%</b>	79.1%	やや遅れ	80%以上

主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
②未指定文化財の神戸歴史遺産新規認定件数	<b>5件</b>	6件	順調	30件 ※R3～7累計
③国際級・全国級のスポーツイベントの開催件数	<b>22件</b>	28件	やや遅れ	140件 ※R3～7累計
⑦外国人延べ宿泊者数	<b>2万人</b>	60万人	遅れ	100万人
⑨三宮周辺地区の建替えの計画件数	<b>5件</b>	5件	順調	7件

# 基本目標 4 災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築

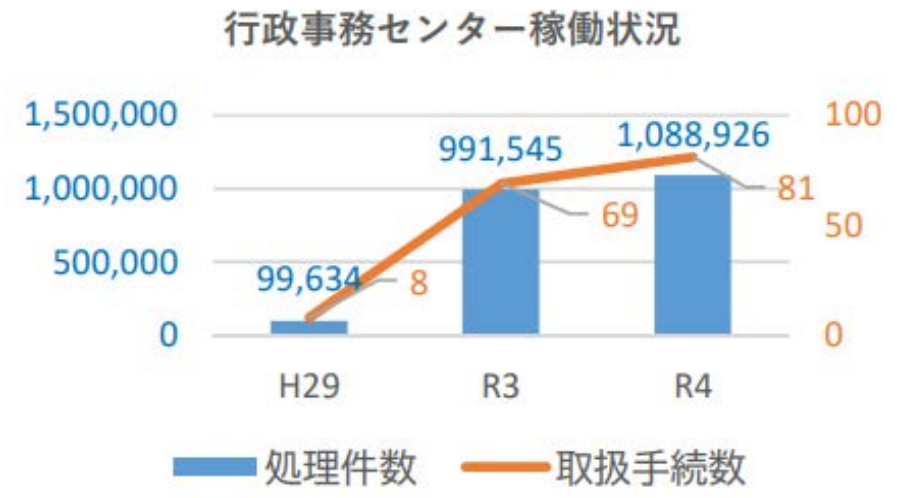


## 令和4年度の主な取組

- ✓ 行政手続きのスマート化促進のためのBPR支援
- ✓ 「学園都市スマートサポート窓口」の設置による電子申請やリモート相談の支援
- ✓ 防潮鉄扉の遠隔操作化等、南海トラフ巨大地震に伴う津波対策（防潮堤等の粘り強い構造への補強）



スマート申請システムe-KOBE



行政事務センターの活用拡大

電子申請がもっと簡単・便利に！ KOBE

## 学園都市スマートサポート窓口

～区役所に行かなくても申請や相談が可能～

10.11(火) 12:00

# OPEN

e-KOBEでの電子申請や区役所へのリモート相談などをサポートする「学園都市スマートサポート窓口」を開設します。スマホなどデジタル機器に不慣れな方に、機器の使い方や便利な行政手続きを学生が支援。窓口は地下鉄学園都市駅から徒歩約3分、学園都市メインナンバーサテライト会場内です。どうぞお気軽にお越しください。

学園都市スマートサポート窓口

## 基本目標 4 災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
行政手続きスマート化率	52.1%	45.0%	順調	件数ベースで70%

主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
②鉄扉の遠隔操作化	49基	59基	順調	78基 ※R6完了
⑦「コベリン」会員数	85,356人	79,000人	順調	10万人
⑧キャッシュレス決済を導入する文化施設など	18施設	全施設 (19施設)	順調	対象施設全施設
⑩インターネットを使用する高齢者の割合	84.7%	79.5%	順調	90%



# 基本目標5 安心・健康でゆとりあるくらしの実現



## 令和4年度の主な取組

- ✓ 「コウベdeカイゴ」の推進による人材確保、支援が必要なこどもケアラーに対する訪問支援事業の創設
- ✓ 進出企業・団体等への研究開発補助、次世代医療開発センターにおける研究に対する支援（神戸医療産業都市の推進）
- ✓ 認知症診断助成制度、認知症事故救済制度の継続実施

**神戸市は介護業界をめざすあなたを応援しています。**

職場環境の改善を神戸市がバックアップ

神戸市が資格取得・キャリアアップを応援

安心して働ける環境を神戸市が整備

**コウベdeカイゴ**

**研究体制**

**医療産業都市推進機構（感染症制御研究部）**

認知症の人にやさしいまち「神戸モデル」

**認知症診断**

65歳以上の神戸住民

**無料**

認知症と診断された場合

無料で受けられる4つの安心

- 1 賠償責任保険  
最高2億円の賠償責任保険への加入
- 2 コールセンター  
24時間 365日対応
- 3 GPS  
かけつけ
- 4 見舞金  
最高

**認知症診断助成制度**

## 基本目標5 安心・健康でゆとりあるくらしの実現

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
がん検診の受診率 ※国民生活基礎調査において、3年に1度調査、直近はR4実施	43.7% 〔参考：42.4% R元年度〕	—	順調	50%
65歳以上の要支援・要介護認定率	<b>21.4%</b>	21.9%以下	順調	23.6%

主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
①認知症高齢者など声かけ訓練	<b>26センター</b>	25センター	順調	全あんしんすこやかセンター（76センター）で実施
①介護保険施設等の施設系サービス	<b>13,801床</b>	14,245床	遅れ	15,387床
②障害のある方を支援する 計画相談支援専門員の人数	<b>21人増</b>	20人増	順調	60人増 ※R3～5累計
⑤神戸医療産業都市内の企業や アカデミアなどにより、健康・ 医療関連データを活用し、実施 された共同研究や実証試験の件数	<b>11件</b>	4件	順調	20件 ※R3～7累計



# 基本目標 6 将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ



## 令和4年度の主な取組

- ✓ KOBEゼロカーボン支援補助金制度、地域拠点におけるプラスチック・びん等の資源回収ステーションの展開
- ✓ 地域活性化に資する利活用や老朽空家等解体補助制度等、空家空地対策の促進
- ✓ 省力化農業用機械の導入支援、「こうべハーベスト」等を活用した農業者支援



「こうべハーベスト」の利用促進

## 基本目標 6 将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
二酸化炭素排出量：実質ゼロ (2050年までに) ※算定に国の統計資料等を使用することから 最新数値は令和3年度の実績値	— (参考：▲37.5% R3年度)	—	—	— (参考：2030年度までに 2013年度比で二酸化炭素 排出量を約60%削減)
在住者アンケート「交通や生活利便 施設などの利便性が高い」の評価	<b>85.2%</b>	83.3%	順調	85%以上

主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
①老朽空家等解体支援などによる 改善件数	<b>1,138件</b>	1,000件	順調	5,000件 ※R3～7累計
②公共交通分担率	<b>34.4%</b>	34.2%	順調	35%
②新たなモビリティを活用した 事例数	<b>11事例</b>	2事例	順調	10事例
⑥リノベーションする拠点公園数	<b>3公園着手</b>	2公園	順調	10公園 ※R3～7累計

# 基本目標 7 多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化



## 令和4年度の主な取組

- ✓ 継続的な社会貢献活動に対する学生参加を促進する「KOBE学生地域貢献スクラム」の実施
- ✓ 外国人留学生向け合同企業説明会の拡充等、外国人留学生の市内就職促進
- ✓ 「多文化共生コーディネーター」の配置等による在住外国人支援体制の充実
- ✓ 地域福祉センターを拠点とした子育て世代の利用促進等、地域における多世代交流の推進



KOBE学生地域貢献スクラム  
(里山の整備と環境体験学習、神戸みらい学習室)



外国人向け合同企業説明会



多文化交流フェスティバル



# 基本目標 7 多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化

数値目標	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
市内留学生数(大学・短大)	4,166人	4,350人	順調	5,000人
民間事業者と連携して実施したプロジェクト数	183件	140件	順調	700件 ※R3～7累計
主なKPI	R4年度実績	R4年度目標	進捗状況	R7年度目標
①地域福祉センターの子育て世代の利用割合(ネットモニターアンケート) ※中間年の評価は利用者満足度調査で代替	— 〔11.12%〕	— 〔12%以上〕	— 〔順調〕	40% 〔20%〕
③ファミリー・サポート・センター事業(再掲)	218人	542人	遅れ	519人 ※R6年度
⑥企業などへの日本語教師の紹介件数(再掲)	2件	5件	遅れ	20件
⑥外国人も対象となる広報物の多言語(英中越・やさしい日本語)対応率(再掲)	81%	40%	順調	100%

# 令和4年度の取組状況

全体的な取組状況としては、概ね順調に進行しており、遅れのあったKPIにも改善傾向が見られる。例えば、テクノロジーを活用した企業の課題解決支援や省力化農業用機械の導入、障害福祉サービスにおける計画相談支援の導入等、各分野の取組が着実に進んでいる。一方で、令和3年度に引き続き、宿泊客数など人の移動・集積に関する指標を中心に、新型コロナウイルス感染症の影響による遅れが生じているものが見受けられる。

令和5年6月のビジョン改訂にて「神戸空港国際化への対応」や「人口減少に対する両輪（抑制、適応）の取り組み姿勢」を改めて示したところであり、経済・社会活動の正常化への動向を見据えて着実に取組を推進し、まちの魅力のさらなる創出をはじめ、デジタル化や外国人観光客の受入環境整備等、各施策をより一層進めていく必要がある。

## 基本目標別 数値目標・KPIの進捗状況〔KPIは再掲含む〕

( ) : 令和3年度実績

基本目標	数値目標			KPI		
	順調	やや遅れ	遅れ	順調	やや遅れ	遅れ
1	1	-	1	27	1	6
2	0	-	1	9	1	3
3	1	1	-	13	8	5
4	1	-	-	13	2	1
5	2	-	-	7	1	1
6	1	-	-	11	0	1
7	2	-	-	13	2	3
合計	8 (6)	1 (0)	2 (4)	93 (91)	15 (14)	20 (27) <sup>30</sup>

※令和4年度に計測できないものを除く

# 新・神戸市基本構想

(平成 5 年 9 月 20 日議決)

## はじめに

緑なす六甲の山々と陽光に輝く青い海。起伏のある変化に富んだ地形。この恵まれた自然の中で、神戸は古く日宋貿易の時代からアジアへの窓口の役割を果たしてきた。

1868年(慶応3年)の兵庫開港を契機に、広く世界との交流を始め、先人たちの英知と努力により、産業を興し、都市の骨格を築き、生活文化を培ってきた。その結果、開放的で進取の気風にあふれ、大都市の魅力と暮らしやすさがほどよく調和した今日の神戸をつくり出している。

しかし一方では、超高齢化・国際化・情報化の進展、価値観や生活様式の多様化、地球環境問題の顕在化、都心周辺部の活力低下を示すインナーシティ現象の発生など、神戸を取り巻く内外の状況は大きく変化しつつある。

また、経済全体の豊かさに比べ、個人にその実感が伴わないことから、都市生活の基礎的条件を確保し、さらに“生活の質”をより重視した真に豊かな暮らしの実現が求められている。

将来への夢と展望を持ち、様々な課題を克服しながら、持続可能な成長を図り、より良い神戸を築き、次世代に引き継いでいく。これは、脈々と続く歴史の流れの中で、現在に生きる私たちの責務である。

神戸は、今、新しい時代に向けて、市民の主体的な参加により、都市のにぎわいとやすらぎが調和した魅力あふれる「アーバンリゾート都市づくり」を進めている。

この新たなまちづくりを機に、私たちは神戸の未来を拓いていくための基本的な指針として、ここに「新・神戸市基本構想」を定める。

## 世界とふれあう市民創造都市

憲法の基本的な人権が実質的に保障され、市民一人ひとりが個性や能力を十分に発揮し、温かいふれあいと支え合いの中で多様な暮らしを選択、創造できる神戸を実現していくことが、都市づくりの基本である。

そのためには、市民の豊かで安定した暮らしを支える基盤として、人・物・情報の交流を生かしながら、人材を育て、新たな文化や産業を創造し、国内はもとより世界に向けて発信する神戸で



なければならない。また、歴史の中で培われてきた国際性を生かし、世界の人々や都市との交流・協力を繰り広げ、世界の恒久平和や調和ある発展と、環境保全に地域から貢献していくことも必要である。

言うまでもなく、このような都市づくりは、真の地方自治の確立のもとに、市民の高い自覚と主体的な取り組みによってのみ推進しうるものである。

そこで、私たちは、地球社会において、人間性豊かな“市民の暮らし”とその基盤となる“都市の魅力と活力”を、市民が主体となって創造していく

「世界とふれあう市民創造都市」

を、2025年に向けた、神戸の都市づくりの基本理念とする。

この基本理念の実現にあたっては、

「ともに築く人間尊重のまち」

「福祉の心が通う生活充実のまち」

「魅力が息づく快適環境のまち」

「国際性にあふれる文化交流のまち」

「次代を支える経済躍動のまち」

の5つの都市像を掲げ、相互の連携を図りつつ、総合的にまちづくりを進めていく。

## 第1 ともに築く人間尊重のまち

(都市像)

人間尊重 それは、市民一人ひとりが希望と生きがいを持ち、ふれあいとやさしさに満ちた、真に豊かな暮らしを実現するための普遍の原理である。

そのため、すべての市民が等しく人間として尊重され、持てる力を十分に発揮できる、人間的なつながりのあるまちをつくる。また、国内外の都市との多彩な協力を進め、地球市民としての自覚のもとに、共生社会の実現に貢献していく。

まちづくりを進めるにあたって何よりも重要なのは、市民・事業者・市がそれぞれの役割を自覚し、“協働”していくことである。

市民は、一人ひとりがまちづくりの主役であるとの認識に立ち、幅広い視野を持って、自立と連帯のもとに、主体的に行動する。

事業者は、事業活動を通じて住み良いまちづくりに努め、地域社会の一員として様々なまちづくり活動に参画する。

市は、市民の信託に応え、市民・事業者のまちづくり活動を支援し、長期的・総合的・広域的な視点からまちづくりを進める。

(まちづくりの方向)

## 1 人間らしい生き方のできる社会をつくる

### (1) 差別のない社会の実現

すべての人々の基本的人権が実質的に保障された差別のない自由で明るい社会をつくるため、同和問題の早期解決を図るとともに、性別、民族・文化・国籍の違いによる差別や、障害者に対する差別、疾病による差別など、一切の差別がないとにも生きる社会を築く。

### (2) 男女共同参画型社会の実現

男女があらゆる分野とともに参画し、多様な生き方が選択できる環境づくりを進め、男女がともにつくりともに担う社会を実現する。

### (3) 様々な世代が参画できる社会の形成

子どもから高齢者まで様々な世代の市民が、生き生きと暮らせるよう、社会の一員として参画できる条件を整える。

### (4) ゆとりある社会の構築

市民一人ひとりが自己実現を図れるよう、自由な時間を持ち、創造活動を行える、ゆとりある社会を築く。

## 2 市民の主体的な地域社会づくりを進める

### (1) 地域に根ざしたまちづくり

市民が地域社会の中で生き生きと暮らし、共通の課題に対してともに考えともに解決していけるよう、地域に根ざしたまちづくりを進める。

### (2) 交流の輪が広がるまちづくり

地域やそれを越えた広がりの中で、様々な価値観を持ちながらも目標を同じくする人々の交流や、まちづくりの連携などを通じて、多様な人間関係を構築する。

### (3) ボランティア社会の形成

市民がその知識・技能・経験や自由時間を生かして、自発的に様々な分野でボランティア活動をし、互いに支え合うまちをつくる。

### (4) 事業者の社会的貢献の促進

事業者は、地域社会の一員としての自覚を持ち、その役割と責任のもとに、社会的貢献活動に積極的に取り組む。

## 3 市政への市民参加を進める

### (1) 市民・事業者・市の信頼関係の強化

市民・事業者・市がともにまちづくりに取り組んでいけるよう、相互の信頼関係をより一層高める。

### (2) 参加と対話による市政の推進

市民の創意と活力がまちづくりに生かされるよう、市民と市の対話、市民の計画づくり・

実行への参加など、多様な市民参加を促進する。

(3) 情報の提供・公開

市民が的確で責任のある判断のもとにまちづくりに参画できるよう、個人情報の保護に配慮しながら、市政に関する情報を提供・公開する。

(4) 区行政の充実・強化

市民参加による市政を推進し、地域の個性あるまちづくりを展開するため、区役所を地域の総合行政拠点として位置づけ、市民に身近な区の行政機能を充実・強化する。

4 市民自治に根ざした都市行政を確立する

(1) 市民の自主的なまちづくり活動の支援

市民の自主的なまちづくり活動が行いやすいよう、人・物・情報など多面的な支援体制を強化する。

(2) きめ細かな行政サービスの提供

市民がきめ細かな行政サービスを受けられるよう、利便性が高く効果的な行政サービス体制の整備を進める。

(3) 計画的な総合行政の推進

市民の意見を市政に反映しながら、総合的・計画的・効率的な行政を推進する。  
また、職員の資質向上を図り、弾力的な組織づくり、財政運営に努める。

(4) 大都市の役割にふさわしい制度の確立

個性的なまちづくりを進めるとともに、大都市としての広域的役割を果たしていくため、市民と一体となって、権限および税財源の拡充など、真の地方自治の確立を求めていく。

5 広域的協力を推進する

(1) 地球市民としての協力の推進

市域を越えた広域生活圈、近畿圏、国はもとより、アジア・世界の一員であるとの認識に立ち、地球市民としての自覚に基づいた協力を推進する。

(2) 利便性の高い広域生活圈の創造

近隣市町との相互補完関係を強化し、共通課題の解決に努め、豊かで利便性の高い広域生活圈を築く。

(3) 近畿圏の活力向上と国土の均衡ある発展

近畿圏内の都市と協力・連携しながら、圏域全体の活力向上を図り、わが国の均衡ある発展に先導的役割を果たす。

(4) 都市間協力の推進

国内外の都市と相互に協力して、人権問題、都市問題、環境問題など人類共通の課題に積極的に取り組む。

## 第2 福祉の心が通う生活充実のまち

(都市像)

いかなる時代にあっても、幸せな市民生活を実現していくことは、まちづくりの最大の目標である。

本格的な人生 80 年時代を迎え、価値観や生活様式が多様化する中で、すべての市民が、基礎的な生活の安定の下に、幸せな生涯を送り、長命を寿(ことほ)ぐには、生活者の視点に立って、社会経済の仕組みを見直していく必要がある。

そして、市民一人ひとりが、お互いにかげがえのない存在として尊重し合い、社会を支える一員としての自覚を持ち、充実した人生を送ることのできるまちをつくりあげていかなければならない。

そのため、良好な居住環境のもとで、地域から温かい心とふれあいを育む福祉文化を生み出し、生活の質を高める新たな価値観を創造し、すべての人が健康でゆとりをもって自らの人生を切り開いていけるまちをつくる。

(まちづくりの方向)

### 1 質の高い暮らしをめざす

#### (1) 生きがいのある充実した生活の実現

すべての市民が、個性や能力を生かしながら、自らの意志で多様な生き方を選択できる、生きがいに満ちた真に豊かな生活の実現をめざす。

#### (2) 家庭生活を支える仕組みづくり

生活の基盤である家庭がより温かでふれあいに満ちた場となるよう、良好な居住環境のもとに、子育てや介護などに必要となる保健・医療・福祉などの社会的サービスを総合的に利用できる仕組みをつくる。

#### (3) 豊かな地域社会の構築

すべての市民が生き生きと安心して暮らせるよう、様々な世代のふれあいのある地域社会づくりと、福祉・健康の視点に立った都市整備を進める。

### 2 人間性あふれる福祉環境を創造する

#### (1) とともに生きともにつくる社会の実現

基礎的な生活の安定が確保される中で、すべての市民が能力を最大限に生かし、支え合い、ともに生きともにつくる社会を実現する。

#### (2) 地域福祉活動の推進

住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるよう、福祉への理解と認識を深め、地域の

特性を踏まえた福祉活動を推進する。

(3) 多様な福祉サービスの充実

地域に開かれた福祉施設を体系的に整備し、福祉を担う人材の養成・確保に努め、乳児期から高齢期まで生涯にわたる福祉サービスを充実する。

3 生涯にわたる健康づくりを進める

(1) より積極的な健康づくり

日々の暮らしの中で、気軽に心身の健康づくりが実践できる環境づくりを進め、生涯にわたってより健やかで充実した生活を送ることができるまちを実現する。

(2) 一貫した保健・医療サービス体系の構築

体系的な施設整備や人材の養成・確保など、保健・医療サービス供給体制を充実し、健康づくりから予防、治療、機能回復まで、一貫したサービス体系を構築する。

(3) 地域における医療・救急体制の整備

医療機関の相互連携や救急体制の強化を進めるとともに、身近な地域を中心に、市民の生命を守り、健康を支え合う仕組みづくりを進める。

4 真に豊かな消費生活を実現する

(1) 安心できる消費生活の実現

商品やサービスの多様化が進む中で、消費者主権の確立のもとに、安全で安定した消費生活を実現する。

(2) 新たな生活価値の創造

真に豊かな消費生活を実現できるよう、様々な立場で連携をとり、長期的な視点から、文化性豊かで環境と調和のとれた、新たな生活価値を創造する。

5 喜びとふれあいの生活の場を築く

(1) ふれあいのある住まいづくり

すべての市民が、家族や地域の人々との温かい交流の中で、生き生きと健康に暮らせるよう、ふれあいのある住まいづくりを推進する。

(2) 良質な住宅群の形成

住宅を社会性の強い生活基盤として認識し、良好な住宅の整備と適切な維持・管理に努める。

(3) 多様な住宅を選択できる社会の実現

家族構成や生活様式に応じて、多様な住宅が選択できる社会の実現を図る。

(4) 個性あふれる住環境の創造

だれもが住み続けたいまちをつくるため、環境との調和を図りつつ、自然や文化など地域の特性を生かし、個性あふれる住環境を創造する。

(5) 生活の広がりに応じた場づくり

市民の身近な生活文化を高めていくため、生活の広がりに応じて地域の核となる場づくりを進めるとともに、市民が主体性を発揮できるまちづくりを推進する。

### 第3 魅力が息づく快適環境のまち

(都市像)

豊かな自然を守り、育て、時には自然の厳しさを克服しながら、神戸はまちの個性を伸ばし、快適で活力のあるまちをつくり出してきた。

地球環境問題が顕在化する中、健全で恵み豊かな環境を次世代に引き継ぐべき共有の財産として深く認識し、環境にやさしい都市を創造していくことが求められている。

そのため、自然環境や都市環境の保全・改善、さらには新たな環境を創造し、自然や歴史的な環境と調和した均衡ある都市空間を形成していく。

これらの都市づくりを通じて、だれもが自然とふれあいながら、安らぎとうるおいに満ちた快適な生活空間の中で、安心して暮らし、働ける魅力的なまちを実現する。

(まちづくりの方向)

1 調和ある都市空間をつくる

(1) 180万人の都市容量の設定

都市の容量を市域に住む人口180万人とし、貴重な自然を守り、育て、都市の成長を管理しつつ、ゆとりと活力のある調和のとれた都市環境を創造する。

(2) 地域の均衡ある整備

都市の容量に余裕をもたせながら持続可能な都市整備を進め、人口や都市機能の均衡がとれた都市空間を創造する。

既成市街地域は、都市機能の更新を進め、快適な都市環境を確保するとともに、高次な都市拠点の形成を図る。特にインナーシティでは、人口の定住化、住環境の改善、産業の振興、地域魅力の向上を図る。

西北神地域は、自然環境と農業の生産環境を保全するとともに、既成市街地域の更新と連携した整備や新たな都市機能の導入を図り、地域の自立性を高める。

海上都市は、海や空の拠点性を高め、環境と調和を図りながら、人・物・情報の交流機能を中心とした多様な都市づくりを進め、未来都市の創造を先導する。

これらの地域を有機的に連携させるため、特性に応じた交通基盤を整備し、相互の機能を高める。

(3) 都市活動に対応した整備

市民生活の利便性を高めるため、都市活動の広がりに応じて都市機能を配置し、体系的な都市空間の形成を図る。

そのため、日常生活の基礎となる近隣生活圏や地縁的・歴史的なつながりにより一体感を有する生活文化圏、地域として総合的なまとまりのある行政区、さらには地理的・社会的に神戸と密接な関係にある広域生活圏など、重層的な都市整備を進める。

#### (4) 計画的な土地利用の推進

公共の福祉優先の土地利用を原則とし、多様な用途が適正に配置された活力ある市街地を計画的に形成する。

また、地域特性に応じた土地の適正利用を進めるとともに、安全や環境に配慮した地下空間・海中空間の活用など、都市空間の有効利用を図る。

## 2 自然を守り、育て、生かす

### (1) “みどりの聖域”づくり

かけがえのない財産である緑を次世代に継承するため、守り、育てるとともに、ふれあい親しめる環境を創造し、“みどりの聖域”づくりを全市的に展開する。

### (2) “公園都市”の創造

市街地に“都市の森”を整備する。

さらに、市街地の緑地や水辺と六甲山系の緑地空間を緑で織りなし、街の中で自然や生きものとふれあえる“公園都市”を創造する。

### (3) 身近な自然の保全と活用

市民に親しまれてきた山々、海辺、湖沼、河川などの空間は、より身近に自然とふれあえる場として守り、育てる。

また、農村地域の自然環境や農村文化の保全と活用を図り、人と自然が共生できる緑豊かな地域づくりを進める。

## 3 安心なまちをつくる

### (1) 安心して暮らし、働けるまちづくり

市民生活の基本的な条件である安心が確保された暮らしを実現するため、高齢化の進展など社会経済情勢の変化に対応したまちづくりを進め、総合的な都市安全体系を確立する。

### (2) 災害に強い都市づくり

水害、がけくずれ、高潮など神戸の地形的特性から大規模な被害をもたらす可能性のある災害について、恒常的な防災対策を進めるとともに、地震や火災、さらに都市の複雑化に起因する災害に備え、被災時でも機能しうる都市をつくる。

### (3) 日常生活における安心の確保

交通事故、家庭内事故、犯罪など家庭や地域における事故や災害から人々を守り、す

すべての市民が不安なく過ごせるまちをつくる。

(4) 安心を支える仕組みづくり

家庭や地域における防災意識を高めるとともに、互いに助け合う地域社会づくりを進め、暮らしの中の事故や災害に対し、市民自らが適切に対応できる仕組みをつくる。

4 環境にやさしい都市を創造する

(1) 快適な人間環境の保全

都市活動や市民生活そのものに起因する環境問題に適切に対処するとともに、産業活動の高度化などに伴う新たな環境汚染の未然防止に努め、快適な人間環境を保全する。

(2) 人と環境の共生

都市の活動や構造を自然の生態系が有する自立・安定・循環型の仕組みに近づけるとともに、環境と共生する暮らしを実現する。

(3) 循環型供給処理体系の確立

水・エネルギーの安定供給や下水・廃棄物の適正処理など供給処理能力の向上・高度化を進める。

さらに、供給・処理施設の有機的連携を図り、省資源化や処理過程で発生する資源の利用を促進し、循環型の供給処理体系を確立する。

(4) 地球環境問題への取り組み

環境を未来の人々と共有すべき限りある財産としてとらえ、足元からの取り組みを進めるとともに、地球規模の環境保全に貢献する。

5 魅力にあふれた都市をつくる

(1) 多彩な都市空間の創出

海、坂、山、そして街と田園という神戸の都市空間が持つ魅力や、地域の個性的な資源を生かし、発展させ、多彩で変化に富んだ都市空間を創出する。

(2) 個性的な都市整備の推進

歴史的な環境や神戸らしい景観を守り、育て、文化や芸術の香りあふれる都市整備を進め、より個性的で質の高い都市を未来へ継承する。

(3) にぎわいのある都市づくり

多様な魅力資源を生かし、つくり、回遊性を確保して都市に深みを与える。

さらに、界限(わい)性を高め、人々が集い楽しめる、にぎわいのある都市を実現する。

## 第4 国際性にあふれる文化交流のまち



## (都市像)

国際的な文化の窓口として育ってきた神戸は、世界の人や情報が行き交う中で、先駆性、多様性といった神戸らしい文化風土を市民の暮らしに根づかせてきた。

情報の価値がますます高まる中、神戸が新しい情報を生み出すためには、それを育む交流環境を充実することが不可欠となっている。

交流は新たな情報を生み、情報は新たな文化をつくる。さらに文化はまちの魅力を高め、魅力が多彩な人々を集める。

このような人や情報の交流の中で、豊かな心と個性をもつ人を育てることにより、都市の基盤である文化を高め、生涯を通じてゆとりある暮らしを楽しめるまちをつくる。

## (まちづくりの方向)

### 1 暮らしにうおいを与える文化を育む

#### (1) 神戸らしい文化の創造

神戸の文化環境や文化財を生かしながら、生活文化・芸術文化を高め、世界に向けて発信できる神戸らしい文化を創造する。

#### (2) 文化を支える人づくり

市民の身近な文化活動や芸術家の創造活動の機会をつくり、市民と芸術家がお互いに高め合う中で、文化を支える人づくりを進める。

#### (3) 文化を高める交流の推進

神戸の文化をより多様で深みのあるものにしていくため、芸術家相互の交流を始め、歴史的文化、異なる文化など多元的な文化が交流できる環境をつくる。

#### (4) 文化の拠点づくり

都市に不可欠な基盤である文化の振興を図るため、市民の学習・鑑賞の場や芸術家の育成・交流の場となる文化の拠点づくりを進める。

### 2 生涯を通じて学び、豊かな人間性を養う

#### (1) 豊かな人間性を持った人づくり

人、まち、自然を愛する豊かな人間性を育むため、人権・平和・民主主義を守り、公共心と福祉の心に富んだ市民意識を育てる。

#### (2) 個性的・創造的な地球市民の育成

郷土を愛する心や地球規模の視野をもった、個性的で創造的な、21世紀を生きる人づくりを進める。

#### (3) 生涯学習社会の構築

市民一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した人生を送れるよう、すべての市民に教育と学習の機会を保障し、生涯にわたって学ぶことのできる生涯学習社会を構築する。

(4) 生涯学習の推進体制づくり

学校、家庭、地域、職域などの教育・学習機能を高め、生涯学習の総合的な推進体制をつくる。

また、地域でのまちづくり活動を促進するため、学校施設を生涯学習推進の核とし、地域に開かれた学校づくりを進める。

(5) 次代を担う子どもの育成

次代を担う子どもたちの無限の可能性と能力を引き出すため、あらゆる場を通じて、健全やかな心身と豊かな情操を養い、一人ひとりの人格を尊重しながら、自ら学び遊ぶ力を伸ばす。

学校教育においては、基礎的能力を培うとともに、個性を生かす教育を進め、社会の変化に主体的に対応できる人づくりを行う。

(6) 高等教育機関の充実・強化

神戸の学術・技術に関する創造・発信の核として、高等教育機関の充実・強化を図る。

また、高度化する市民の学習欲求に対応し、生涯学習の場としての機能を高める。

3 スポーツ・レクリエーションを振興する

(1) 生涯を通じた活動の環境づくり

いつでも、どこでも、だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、機会・情報の提供、組織づくりや指導者の養成などの環境づくりを進める。

(2) 施設の体系的整備・高度化

身近な地域で利用できる施設から国際的な大会を開催できる施設まで、体系的な整備を進める。

また、市民が使いやすく、競技者の育成にも対応できる、施設の高規格化と運営の充実を図る。

(3) 都市全体を生かした展開

海辺、山々、市街地など、神戸の多様な都市空間を生かし、都市全体がスポーツ・レクリエーションの舞台となるまちづくりを進める。

4 国際化先進都市をめざす

(1) 生活の国際化に対応したまちづくり

国際社会にふさわしい市民性を育み、身近なところから国際交流を進め、外国人にも暮らしやすい多様な文化に開かれたまちをつくる。

(2) 国際化を生かした都市の活性化

世界との交流や協力を通じて、神戸の新たな成長を図るため、経済の国際化や質の高い都市基盤の整備により、世界都市機能を充実・強化する。

(3) 世界に貢献するまちの実現

アジア地域を始めとした海外諸都市との人的・経済的・技術的な協力を推進するとともに、世界の人々や事業者が神戸で活躍できる環境をつくり、世界に貢献する。

## 5 情報コミュニケーション都市をつくる

### (1) 情報を創造・発信できるまちづくり

都市全体を情報を創造する基盤としてとらえ、人々の交流が生まれる場づくりを進めることにより、情報が集積され、独自の情報を発信できるまちをつくる。

### (2) 総合的なコミュニケーション網の形成

市民生活の利便性の向上や都市活動の活性化のため、情報通信基盤の整備を進め、交通結節機能と併せた総合的なコミュニケーション網を形成する。

## 6 神戸の個性を生かし、都市を演出する

### (1) 先駆的なまちづくりの推進

開港以来の神戸の伝統である進取の気風を生かし、未来を先導する先駆的なまちづくりを進める。

### (2) 多様性のある都市の実現

人々の様々な活動や社会経済情勢の変化に柔軟に対応できる多様性のある都市をつくる。

### (3) 都市戦略の総合的な展開

これまでの都市戦略の成果を継承し、さらに総合的に展開することにより、世界の人々が住みたくなり、訪れたくなるまちをつくる。

## 第5 次代を支える経済躍動のまち

### (都市像)

神戸はみなととともに発展してきたまちである。みなとは、まちの個性を育み、都市活力の源泉として多様な産業を育て、豊かな市民生活の実現に貢献してきた。

市民や都市の活動が地球的規模で展開される時代を迎え、人・物・情報の交流拠点である“みなと”は、21世紀の神戸にとって一層不可欠の基盤となる。

いま、海・空・陸の“みなと”はひとつになり、人・物・情報の交流はますます活発になっていく。住みよい環境の中で、人々は生き生きと働き、個性と創造力に満ちた都市活動が展開されるようになる。

このような都市活動の成果が、文化性豊かで安定した市民の暮らしに結びつくよう、環境に配慮しながら、都市を支える経済や交通の機能が充実した創造的で躍動的なまちをつく

る。

(まちづくりの方向)

## 1 活力ある神戸経済をつくる

### (1) 産業構造の高度化

市民生活をより豊かで安定したものとするため、産業の高付加価値化や新たな産業の導入を進め、神戸の産業構造の高度化を図る。

### (2) 神戸経済を牽引する産業の創造

人・物・情報の交流拠点としての特性や既存産業の集積を生かし、将来の神戸経済を牽(けん)引する都市型産業を創造する。

また、神戸の歴史と風土を基盤に成長してきた地場産業を生活文化産業としてとらえ、さらなる発展を図る。

### (3) 人材・企業が集まるまちづくり

産業基盤の整備など経済活動の行いやすい環境と神戸らしい快適な生活環境を総合的に整備し、内外の人材や企業が集まる魅力あるまちをつくる。

### (4) 活力に満ちた中小企業群の形成

中小企業をより働きがいや活力のあるものとするため、新事業の開拓、国際化などを進め、厚みのある中小企業群を形成する。

### (5) 流通機能の高度化と商業の魅力づくり

市民生活の安定と利便を図るため、流通機能の高度化を進めるとともに、多様で魅力ある商業の発展を図る。

### (6) 都市型農漁業の展開

市民に安全で新鮮な農・水産物を安定的に供給するため、市街地と調和を図りながら基盤整備を行い、個性と活力にあふれた都市型農漁業を展開する。

また、農漁業の多面的機能を生かすとともに、市民の憩いとやすらぎの場を提供し、新たな食文化を創造する。

## 2 高次都市機能を強化する

### (1) 拠点性の高い都市づくり

独自の情報を創造・発信できるよう、文化・学術・経済などにおいて内外の拠点となる都市づくりを進める。

### (2) 特色ある都市機能の強化

世界的なファッション拠点づくりを推進するとともに、観光・コンベンションの振興や新たな“遊”空間の創出による集客都市づくりを進め、神戸の個性を生かした特色ある都市機能を強化する。

### (3) 研究開発機能の強化

生活文化、健康・福祉、環境保全などの次世代技術を育てるため、人材の育成・確保、拠点の整備、産・学・官の交流などを進め、研究開発機能を強化する。

また、研究開発の成果を生かして文化・経済などの都市機能の高度化を進める。

### 3 人間性を重視した労働環境を実現する

#### (1) ゆとりある生活を支える労働環境の実現

生活の安定を確保し、働く喜びを味わい、余暇を楽しむことのできる、人間性豊かで快適な労働環境をつくる。

#### (2) だれもが働きやすい環境の整備

男女が働く機会を均等に得られ、高齢者や障害者、外国人などだれもが働きやすい環境の整備を図る。

#### (3) 創造性にあふれた労働環境づくり

職業能力開発や技能・技術の伝承・育成のための条件整備に努め、働く人々が創造性を発揮できる労働環境づくりを進めることにより、市民生活の向上を図る。

### 4 海・空・陸の広域交流拠点をつくる

#### (1) 海・空・陸の総合交通体系の確立

神戸港、神戸空港を核に、内外の人・物・情報が交流する都市づくりを推進するため、海・空・陸の総合交通体系を確立する。

#### (2) 海の拠点づくり

物流の量的拡大や高度化に対応するため、港湾機能の強化を図り、都市・空港の機能と連携した海の拠点づくりを進める。

また、水辺に親しめる快適な空間を創造し、安全で魅力ある美しいみなととしての総合的な発展を図る。

#### (3) 空の拠点づくり

神戸空港を、高度化・多様化する航空需要に対応できる空港として整備し、神戸や広域生活圏に住む人々にとって利便性が高く環境にやさしい都心型空港とする。

また、関西国際空港を始めとする周辺空港との連携を図り、国内外に開かれた空の拠点づくりを進める。

#### (4) 陸の拠点づくり

リニア新幹線の実現や高速道路の整備など広域交通網を充実し、国内諸都市と結ばれた多核・全方位型の陸の拠点づくりを進める。

#### (5) 物流機能の強化

海・空・陸の総合交通体系を生かし、将来の物流に対応した基盤整備や仕組みづくりを進める。

また、船舶、航空機、自動車、鉄道の機能分担・連携強化を図り、最適な輸送手段を選

択できる条件を整える。

## 5 利便性の高い都市圏交通を形成する

### (1) 30分交通圏の拡大

市民の日常生活の利便性を向上させるため、交通基盤の整備を図り、神戸と広域生活圏との移動時間30分をめざす。

### (2) 市民に身近な公共交通機関の整備

すべての市民が身近に利用できる公共交通機関の整備を進める。そのため、鉄道を基幹とし、バスで補完するほか、需要に応じた交通手段の導入を図る。

### (3) ゆとり社会にふさわしい道づくり

幹線道路から生活道路まで、それぞれの役割に沿った機能的でゆとり社会にふさわしい道づくりを進める。整備にあたっては、まちづくりとの一体性を確保し、通過交通を生活の場から切り離すとともに、地下利用などの道路空間の多面的な活用を図る。

### (4) 都市圏交通の総合的な管理

だれもが安全で快適に楽しみながら利用できる、環境負荷の少ない交通体系をつくるため、私的交通手段の適正利用や公共交通機関への誘導など、都市圏交通を総合的に管理できる仕組みをつくる。

# 現行「基本構想」振返りの視点

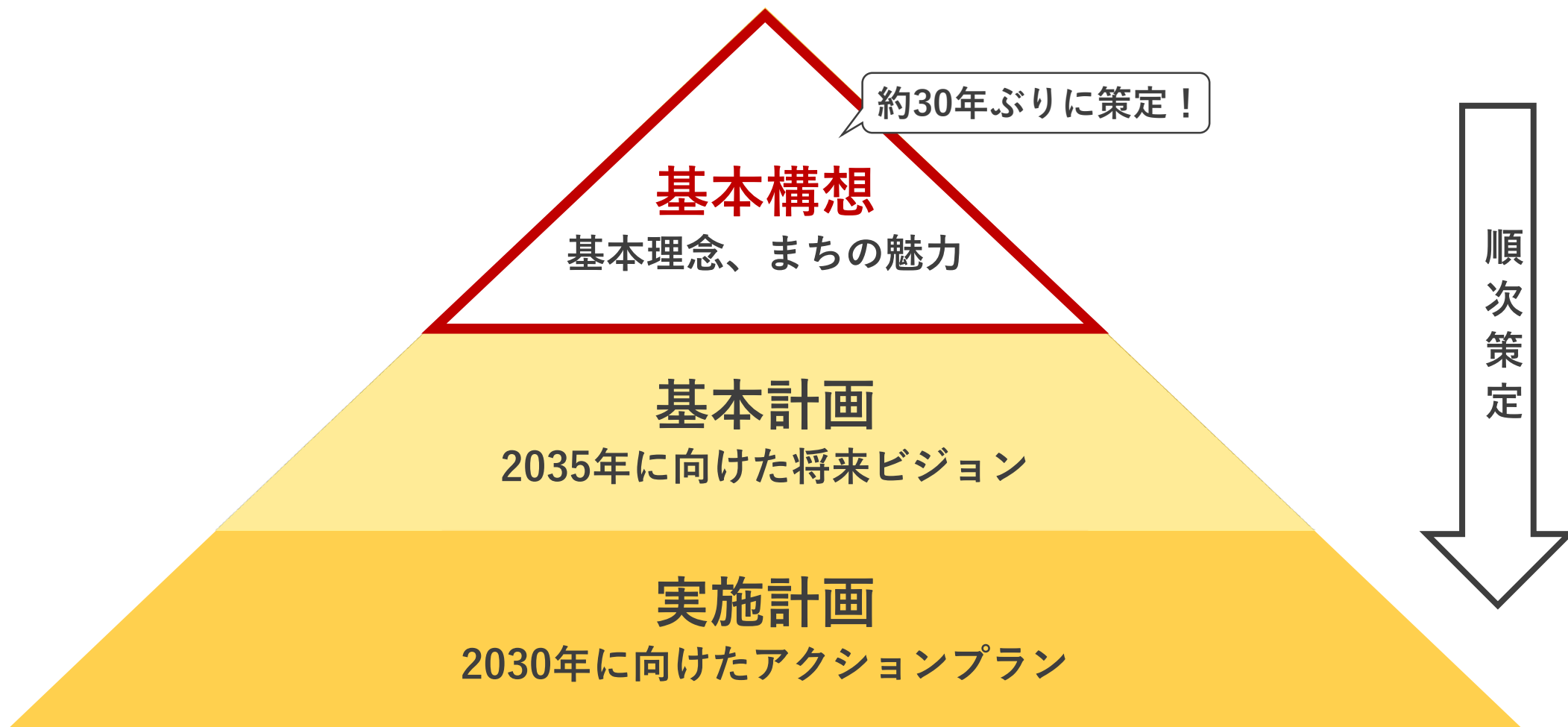
# 「基本構想」「基本計画」の策定経緯

- ・基本構想…市の最高理念であり、21世紀における基本姿勢を市会の議決を経て示したものの。
- ・基本計画…基本構想に描かれた都市像の実現をめざし、まちづくりの基本的な姿勢を示すもの。

	1965年～ (昭和40年)	1974年～ (昭和49年)	1986年～ (昭和61年)	1993年～ (平成5年)	2011年～ (平成23年)
基本構想		人間都市神戸の基本構想 1974年(昭和49年)策定 <b>20年</b>		新・神戸市基本構想 1993年(平成5年)策定 <b>33年</b>	
基本計画 ・区別計画	〈第1次〉 神戸市総合基本計画 1965年 <b>11年</b> (昭和40年)策定	〈第2次〉 人間都市神戸の基本 計画 1976年 <b>10年</b> (昭和51年)策定	〈第3次〉 人間都市神戸の基本 計画(改定) 1986年 <b>9年</b> (昭和61年)策定	〈第4次〉 第4次神戸市基本 計画 1995年 <b>15年</b> (平成7年)策定  区別計画 1996年 (平成8年)策定	〈第5次〉 第5次神戸市基本 計画 2011年 <b>15年</b> (平成23年)策定 ・神戸づくりの指針 ・神戸2015ビジョン ・各区計画
中期計画	神戸市生活環境基準 新・神戸市生活環境基準 第3次神戸市生活環境基準		神戸市都市環境基準 新・都市環境基準		神戸2010ビジョン 2005年 (平成17年)策定 区中期計画 2005年 (平成17年)策定  (基本計画に統合)

(参考) 1991年 第六次空港整備五箇年計画(平成3～7年度)が閣議決定。神戸空港計画が予定事業に組み入れられる。





2025年に計画終期を迎え、新たな「基本構想」策定へ

## ○新・神戸市基本構想

(平成5年9月20日議決)

地球社会において、人間性豊かな“市民の暮らし”とその基盤となる“都市の魅力と活力”を、市民が主体となって創造していく

「世界とふれあう市民創造都市」

を、2025年に向けた、神戸の都市づくりの基本理念とする。

この基本理念の実現にあたっては、

「ともに築く人間尊重のまち」

「福祉の心が通う生活充実のまち」

「魅力が息づく快適環境のまち」

「国際性にあふれる文化交流のまち」

「次代を支える経済躍動のまち」

の5つの都市像を掲げ、相互の連携を図りつつ、総合的にまちづくりを進めていく。

# 基本理念の実現に向けた5つの都市像（まちづくりの方向性）

5つの都市像を掲げ、相互の連携を図りつつ、総合的にまちづくりを進めていく。

## ① ともに築く人間尊重のまち

- ✓ 差別のない社会
- ✓ 男女共同参画型社会の実現

同和問題に加え、性別・障害・疾病による差別意識が問題視されていた。男女格差の視点では、1993年に「婦人問題に関する全国女性リーダー会議」が開催され、**女性の社会参画への意識が高まってきていた**。また、仕事以外での自己実現の考え方の重要度が高まってきていた。

- ✓ 市民主体の地域社会づくり
- ✓ 市政への市民参加の推進

1980年代から神戸市は、地域自らがまちの将来像を作成・提案するいわゆる「**まちづくり協議会方式**」を全国に先駆けて制度化している。そのような状況を受け、1990年には地域からのまちづくりを進める「ふれあいまちづくり条例」を制定し、より**行政地域協働での取り組みが進んできていた**。

- ✓ 市域を越えた広域的協力の推進

広域的な視点は、当初は道路・ごみ・し尿処理などのハードと紐づきの強いシステム整備からスタートし、1970年代には文化・教育・スポーツなどのサービスシステム整備がすすめられた。1991年には「広域行政圏計画策定指針」が示され、より**具体的な形での広域的課題解決が求められてきていた**。

## ② 福祉の心が通う生活充実のまち

- ✓ 真に豊かな消費生活の実現
- ✓ 家庭生活を支える仕組み作り

バブル崩壊を受けて、1990年代前半は、多重債務者問題やマルチ商法被害などが増加していた。そのような状況の中で、消費生活の考え方に「暮らしの安全」や「心のゆとり」といった考え方が登場し、長期的なスパンでの消費を見つめるようになった。

- ✓ 福祉環境の充実
- ✓ 生涯にわたる健康づくりの実現

1993年頃は、厚生労働省が「健康づくりのための運動指針」を策定するなど健康づくりを推進していたこともあり、自治体において健康づくりセンターの設置、協議会発足等の「健康づくり」の政策に多くが取り組みを進め始めていた。

- ✓ 誰もが住み続けたいくなるまちづくりの推進

1993年頃は、中核都市制度が創設（地方自治法一部改正）され、権限拡大による自主性・自律性の向上とともに全国における地方分権・市域主権の推進に貢献する必要性から住民サービスの向上や個性的なまちづくりの積極的推進が求められてきていた。

当時の状況

## ③ 魅力が息づく快適環境のまち

- ✓ 自然や環境にやさしい都市の創造

1970年以降は、環境問題の早急な対策の必要性が指摘され、その結果、1992年に「地球サミット」が開催された。国際的な取り組みに関する行動計画である「アジェンダ21」が採択され、その流れも受けて日本では建設省が環境共生モデル都市（エコシティ）の指定・展開をスタートさせていた。

- ✓ 災害に強く、安心して暮らし、働けるまちづくり

伊勢湾台風や東海地震を想定した関連法の考えに基づき、実際に起きた災害への対策に主眼を置き、災害を制御可能と捉える対策が国内で講じられてきた。一方、国連では1990年代を「国際防災の10年」と定めるなど国際社会の関心が災害発生前の取組へと徐々にシフトしていた。

- ✓ 神戸の資源を活かした魅力にあふれる都市づくり

1996年に訪日外国人旅行者数を倍増させる目標の「ウェルカムプラン21」を運輸省が策定。1998年には、市街地の整備改善、商業等の活性化を一体的に推進する中心市街地活性化法が制定され、まちの個性を活かした魅力づくりに全国的に取り組んでいた。

当時の状況

## ④ 国際性にあふれる文化交流のまち

- ✓ 国際化先進都市を目指した都市機能の充実・強化

1980年代後半から90年代前半にかけて市町村レベルでの国際化が意識されるようになった。その時代には、単なる姉妹都市締結の文化交流にとどまらない国際協力や、国際会議や国際見本市の開催、複数の自治体間での地域間交流体制の構築が行われるようになってきていた。

- ✓ 生涯を通じた学びの場
- ✓ スポーツ・レクリエーションの振興

生涯学習の面では、1992年に「生涯学習の振興方策（略称）」の重点課題としてリカレント教育などが示され、成人にとっても多様な学び・経験の重要度が認識され始めていた。また、文化面においては、1990年代は文化財保護の観点だけではなく、地域のシンボルとしての多目的ホールの建設が進み始めていた。

- ✓ 情報化社会への対応
- ✓ 個性を生かした先進的な都市演出

1995年には、Microsoft社のWindows95が発売によるインターネットの一般化に加え、携帯電話も一般利用が進み始めていた。それらの影響も受け、2000年代からは、地方公共団体の中でも、IT企業の誘致に取り組む団体も一定数出てきており、情報化社会への転換が進み始めていた。

当時の状況

## ⑤ 次代を支える経済躍動のまち

- ✓ 活力ある神戸経済の実現

1990年前半は円高が進み、日本企業の工場建設等の海外進出が進み、国内産業の空洞化などが大きな問題の一つとして挙げられていた。空洞化した付加価値を埋めるため、資本・技術強化による国内産業の高付加価値化などが求められていた。

- ✓ 都市圏交通の形成や海・空・陸の広域交流拠点の形成

1992年は、東京一極集中の問題意識の高まりもあり、地方拠点での都市機能増進などの整備促進に向けた「地方拠点法」が制定された。また、市町村の都市計画に関する基本的な方針を定める「都市計画マスタープラン」も創設され、より市町村単位でのまちづくりの重要度が高まってきていた。

- ✓ 研究開発拠点の形成など
- ✓ 高次都市機能の強化

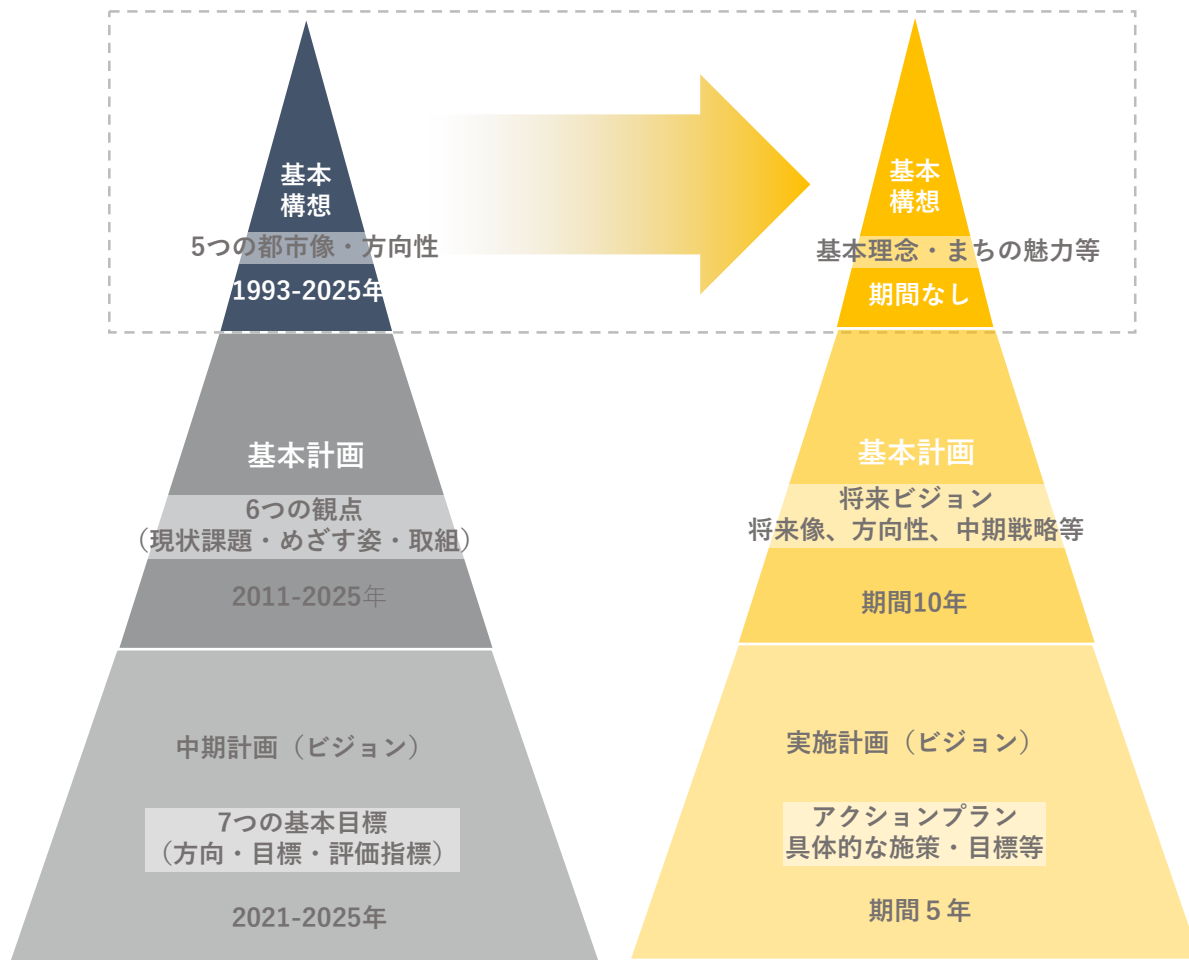
1990年代は、バブル崩壊や国内産業の空洞化などもあり、産業集積での効率化などによる産業競争力の強化が求められていた。国は、そのような状況もあり、2002年に「経済財政運営と構造改革に関する基本方針」を出し、構造改革特区の導入や知的クラスター創生事業の推進などに取り組んでいた。

当時の状況

# 次期「基本構想」策定に向けて

現・総合基本計画体系

次期・総合基本計画体系（方針）



次期・基本構想策定方針  
(令和5年6月12日 総務財政委員会報告より)

激化する都市間競争や社会変容の中、先人たちが引き継ぎ、将来につむいでいくべき神戸のまちの魅力や価値観等の基本理念を端的なメッセージで示し、広く発信することにより、他都市との差別化とともにシビックプライドの醸成やシティプロモーションにつなげていく。

(計画期間：なし)



# 神戸に思いを持つ方から意見を収集

7月  
～  
9月

## 第1弾 アンケート

みなさんの思う  
神戸の魅力

10月  
～  
12月

## 第2弾 アンケート

第1弾アンケートの  
結果を踏まえた深掘り

12月  
以降

意見集約  
基本構想案の作成へ

神戸の魅力や  
未来の神戸で  
やってみたいこ  
となど具体エ  
ピソード

ワー  
クシ  
ョ  
ツ  
プ





- ・ 現行「基本構想」の評価、引継ぐべきもの等について
- ・ 次期「基本構想」の策定に際し、留意すべき視点等について

基本目標1 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	雇用創出数（医療関連企業を含む）	3,400	人	横上（R3年度～R7年度）	680	714	順調
—	—	数値目標	大学生アンケート「勤務希望地を「神戸市」とした人の割合	45	%以上	単年（R7年度）	39.6	32.3	遅れ
① 中小企業の生産性向上・事業承継	テクノロジーを活用した企業の課題解決支援	KPI	専門家派遣によるITなどの導入件数	100	件	横上（R3年度～R7年度）	20	21	順調
② 新しい生活様式に対応した企業活動の支援	テクノロジーを活用した企業の課題解決支援【再掲】	KPI	専門家派遣によるITなどの導入件数【再掲】	100	件	横上（R3年度～R7年度）	20	21	順調
③ スタートアップ支援・イノベーション創出	大学・企業と連携したスタートアップ創業支援及び起業家育成	KPI	域内スタートアップ設立数	80	社	横上（R3年度～R7年度）	16	21	順調
③ スタートアップ支援・イノベーション創出	大学・企業と連携したスタートアップ創業支援及び起業家育成	KPI	域内大学発ベンチャー設立数	20	社	横上（R3年度～R7年度）	4	6	順調
③ スタートアップ支援・イノベーション創出	大学・企業と連携したスタートアップ創業支援及び起業家育成	KPI	域内スタートアップVISA認定件数	15	件	横上（R3年度～R7年度）	3	2	やや遅れ
③ スタートアップ支援・イノベーション創出	スタートアップ育成・集積のための総合的支援	KPI	支援スタートアップ数	1,000	社	横上（R3年度～R7年度）	200	294	順調
③ スタートアップ支援・イノベーション創出	スタートアップ育成・集積のための総合的支援	KPI	ベンチャーキャピタルやファンドの投資スタートアップ数	100	社	横上（R3年度～R7年度）	20	23	順調
④ 六甲山上スマートシティ構想の推進・都市型創造産業の集積	六甲山上スマートシティ構想の推進	KPI	山上オフィス企業会員数	200	社	単年（R5年度）	140	67	遅れ
④ 六甲山上スマートシティ構想の推進・都市型創造産業の集積	六甲山上スマートシティ構想の推進	KPI	山上オフィス月あたり利用者数	1,800	人（延べ）	単年（R5年度）	1,300	382	遅れ
⑤ 持続的な農業と農村地域の活性化	里山・農村地域活性化ビジョンの推進	KPI	営農組織の広域化・法人化	5	件	横上（R3年度～R7年度）	1	0	遅れ
⑤ 持続的な農業と農村地域の活性化	里山・農村地域活性化ビジョンの推進	KPI	省力化農業用機械の導入件数	50	件	横上（R3年度～R7年度）	10	11	順調
⑤ 持続的な農業と農村地域の活性化	里山・農村地域活性化ビジョンの推進	KPI	農村移住件数	75	件	横上（R3年度～R7年度）	15	16	順調
⑤ 持続的な農業と農村地域の活性化	里山・農村地域活性化ビジョンの推進	KPI	農村地域における起業数	125	件	横上（R3年度～R7年度）	25	39	順調
⑥ 食都神戸の推進	食都神戸の推進	KPI	ローカルフードへのアクセス機会（ファーマーズマーケット、食材フェア等）	500	回	単年（R7年度）	300	304	順調
⑥ 食都神戸の推進	食都神戸の推進	KPI	ローカルフードのアクセス機会への参加者数	30	万人	単年（R7年度）	20	20	順調
⑥ 食都神戸の推進	食都神戸の推進	KPI	世界へ向けた神戸の「食」または「食文化」の発信項目	20	種類/累計	単年（R7年度）	17	33	順調
⑥ 食都神戸の推進	食都神戸の推進	KPI	「農」に関する体験、活動を行っている市民の人数	100,000	人	単年（R7年度）	70,000	70,000	順調
⑥ 食都神戸の推進	食都神戸の推進	KPI	地域食材の利用を意識している市民・事業者の割合	80	%	単年（R7年度）	40	55	順調
⑦ 神戸医療産業都市の推進	神戸未来医療構想の推進	KPI	神戸未来医療構想に参画する神戸大学や企業による研究開発により、国産手術支援ロボットに実装される新技術の件数	5	件	横上（R3年度～R7年度）	0	0	—
⑧ 企業誘致の推進	雇用の場を生み出す企業誘致の推進	KPI	雇用創出数（医療関連企業を含む）	3,400	人	横上（R3年度～R7年度）	680	714	順調
⑨ 国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化	国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化	KPI	外航コンテナ航路	78	航路以上	単年（R7年度）	78	78	順調
⑨ 国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化	国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化	KPI	内航フィーダー航路	90	便/週以上	単年（R7年度）	90	97	順調
⑨ 国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化	国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化	KPI	外航在来船航路（RORO船含む）	29	航路以上	単年（R7年度）	29	32	順調
⑩ 国際的なネットワークの構築による外国人材の集積	高度外国人材の調査・発掘・開拓、介護など資格職人材の就労支援	KPI	高度人材、介護など資格職人材の在留資格外国人数	100	人	横上（R3年度～R7年度）	14	3	遅れ
⑩ 在住外国人との共生の推進	総合的な日本語学習プラットフォームの構築	KPI	市内日本語学習関連拠点の維持・拡充	55	か所	単年（R7年度）	53	52	順調
⑩ 在住外国人との共生の推進	総合的な日本語学習プラットフォームの構築	KPI	地域日本語教室における学習者数	2,000	人	単年（R7年度）	1,400	1,430	順調
⑩ 在住外国人との共生の推進	総合的な日本語学習プラットフォームの構築	KPI	企業などへの日本語教師の年間紹介件数	20	件	単年（R7年度）	5	2	遅れ
⑩ 在住外国人との共生の推進	在住外国人への情報発信及び言語サービスの充実	KPI	外国人向けの広報物の多言語(英中越・やさしい日本語)対応率	100	%	単年（R7年度）	40	81	順調
⑩ 在住外国人との共生の推進	在住外国人への情報発信及び言語サービスの充実	KPI	外国人向け双方向型情報共有ネットワークの提携拠点設置数	100	拠点（全区で）	単年（R7年度）	53	58	順調
⑩ 在住外国人との共生の推進	地域コミュニティへの外国人流入の活性化	KPI	多文化共生推進拠点の増設	3	か所	横上（R7年度）	3	4	順調
⑩ 在住外国人との共生の推進	地域コミュニティへの外国人流入の活性化	KPI	多文化共生推進拠点への年間合計来館者数	60,000	人	単年（R7年度）	40,000	32,684	順調
⑩ 在住外国人との共生の推進	地域コミュニティへの外国人流入の活性化	KPI	多文化交流員などの年間派遣件数	100	件	単年（R7年度）	65	79	順調
⑫ 大学などとの連携促進	地域連携プラットフォーム（仮称）構築の検討	KPI	「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築	構築完了	—	単年（R3年度）	—	未構築	遅れ
⑫ 大学などとの連携促進	外国人留学生の戦略的獲得と定着	KPI	市内留学生数(大学・短大)	5,000	人	単年（R7年度）	4,350	4,166	順調
⑬ 女性が活躍できる環境づくり	再就職やキャリアアップを希望する女性への支援	KPI	再就職やキャリアアップを希望する女性への支援人数	3,000	人	横上（R3年度～R7年度）	600	820	順調
⑬ 女性が活躍できる環境づくり	女性リーダー育成事業	KPI	女性リーダー育成プログラムの参加者数	250	人	横上（R3年度～R7年度）	50	51	順調

基本目標2 妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	在住者アンケート「子育て環境が良いまち」の評価	70	%以上	単年（R7年度）	67.0	49.5	遅れ
—	—	数値目標	在住者アンケート「教育環境が良いまち」の評価	70	%以上	単年（R7年度）	67.0	51.2	遅れ
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信	幼稚園預かり保育事業	KPI	利用者数（延べ）	854,451	人	単年（R6年度）	889,824	790,928	順調
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信	一時保育事業	KPI	利用者数（延べ）	69,846	人	単年（R6年度）	72,525	46,894	やや遅れ
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信	子育てリフレッシュステイ事業	KPI	ショートステイ利用者数（延べ）	1,355	人	単年（R6年度）	1,696	1,524	順調
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信	子育てリフレッシュステイ事業	KPI	デイサービス利用者数（延べ）	1,484	人	単年（R6年度）	1,792	1,420	やや遅れ
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信	地域子育て支援拠点事業	KPI	箇所数（地域子育て支援拠点）	141	箇所	単年（R6年度）	141	150	順調
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信	ファミリー・サポート・センター事業	KPI	利用者数（週あたり延べ）	519	人/週	単年（R6年度）	542	218	遅れ
② 仕事と子育ての両立支援	待機児童対策	KPI	教育・保育施設などの利用定員	30,629	人	単年（R6年度）	30,346	30,484	順調
② 仕事と子育ての両立支援	保育士などの負担軽減	KPI	保育業務効率化システムの導入	希望する施設すべてで導入	—	単年（R3年度）	—	—	—
② 仕事と子育ての両立支援	病児保育事業	KPI	利用定員数（延べ）	25,680	人	単年（R6年度）	25,680	33,120	順調
② 仕事と子育ての両立支援	学童保育	KPI	利用者数	17,760	人	単年（R6年度）	17,177	16,752	順調
② 仕事と子育ての両立支援	育休中の市民の交流の場の提供	KPI	育休復帰のためのカウンセリング、セミナーの参加者数	700	人	積上（R3年度～R7年度）	140	191	順調
③ 生きる力と夢を育む教育の推進 ⑪ 児童生徒の学びの保障	GIGAスクール構想の実現とこれからの時代に求められる資質を育む教育の推進	KPI	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」児童生徒（小6）の割合	全国平均以上	—	毎年（R3年度～R7年度）	全国平均以上	全国平均未満 ・全国平均（小6：77.3%） ・神戸市（小6：74.8%）	順調
③ 生きる力と夢を育む教育の推進 ⑪ 児童生徒の学びの保障	GIGAスクール構想の実現とこれからの時代に求められる資質を育む教育の推進	KPI	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」児童生徒（中3）の割合	全国平均以上	—	毎年（R3年度～R7年度）	全国平均以上	全国平均未満 ・全国平均（中3：79.2%） ・神戸市（中3：76.7%）	順調
③ 生きる力と夢を育む教育の推進	児童生徒が生き生きと過ごせる安心・安全で楽しい学校の構築	KPI	「自分にはよいところがあると思う」児童生徒（小6）の割合	全国平均以上	—	毎年（R3年度～R7年度）	全国平均以上	全国平均未満 ・全国平均（小6：79.3%） ・神戸市（小6：78.2%）	順調
③ 生きる力と夢を育む教育の推進	児童生徒が生き生きと過ごせる安心・安全で楽しい学校の構築	KPI	「自分にはよいところがあると思う」児童生徒（中3）の割合	全国平均以上	—	毎年（R3年度～R7年度）	全国平均以上	全国平均未満 ・全国平均（中3：78.5%） ・神戸市（中3：78.2%）	順調
④ 神戸の特色ある学び（創造的学び・国際教育など）の推進	子どもの創造的学びの推進	KPI	創造的な学びを取り入れた活動を行う小学校	30	校	単年（R7年度）	5	2	遅れ
④ 神戸の特色ある学び（創造的学び・国際教育など）の推進	神戸市外国語大学における「世界と神戸を結ぶ」グローバル人材の育成	KPI	グローバル教育センター（仮称）の設立	設立	—	単年（R3年度）	—	—	—
④ 神戸の特色ある学び（創造的学び・国際教育など）の推進	神戸市外国語大学における「世界と神戸を結ぶ」グローバル人材の育成	KPI	グローバル教育センター（仮称）の設立	日本英語模擬国連（JUEMUN）を主催	—	3年に1回	・JUEMUN（日本大学英語模擬国連大会）への参加 ・模擬国連神戸大会の開催 ・模擬国連NY大会への参加	・JUEMUN（日本大学英語模擬国連大会）への参加 ・模擬国連神戸大会の開催 ・模擬国連NY大会への参加	順調
④ 神戸の特色ある学び（創造的学び・国際教育など）の推進	神戸市外国語大学における「世界と神戸を結ぶ」グローバル人材の育成	KPI	新たなプログラムの設置	入学から大学院までで中国語通訳を養成するプログラムを設置	—	単年（R5年度）	・中国の大学とのダブルマスター協定締結に向けた協議の実施 ・カリキュラムの検討 ・コーディネーターとなる教員の採用	・中国学科専任教員2人の採用活動。	遅れ

基本目標3 多様な文化・芸術・魅力づくり

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	観光消費額	3,700	億円	単年（R7年）	2,900	2,819	順調
—	—	数値目標	在住者アンケート「楽しむ場所として魅力的である」の評価	80	%以上	単年（R7年度）	79.1	74.3	やや遅れ
① 神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	KPI	ストリートピアノの設置台数	30	台	単年（R7年度）	30	32	順調
① 神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	KPI	現・神戸文化ホールの利用率	80	%	単年（R7年度）	70	64.4	順調
① 神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	KPI	屋内・屋外を問わず、過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンスなど）※ネットモニターアンケート調査	80	%以上	単年（R7年度）	72	54.9	やや遅れ
① 神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み	KPI	神戸の文化的な環境に対する満足度（文化施設の使いやすさ、情報の入手のし易さ、文化芸術に触れる機会など）※ネットモニターアンケート調査	50	%以上	単年（R7年度）	46	37.3	やや遅れ
② 文化財の新たな保存と活用の推進	文化財の新たな保存と活用の推進	KPI	指定文化財などの新規指定など件数	10	件	積上（R3年度～R7年度）	2	1	遅れ
② 文化財の新たな保存と活用の推進	文化財の新たな保存と活用の推進	KPI	未指定文化財の神戸歴史遺産新規認定件数	30	件	積上（R3年度～R7年度）	6	5	順調
② 文化財の新たな保存と活用の推進	文化財の新たな保存と活用の推進	KPI	基金からの助成件数	15	件	積上（R3年度～R7年度）	3	8	順調
③ スポーツの振興	スポーツの振興	KPI	国際級・全国級のスポーツイベントの開催件数	140	件	積上（R3年度～R7年度）	28	22	やや遅れ
④ 本に親しめる環境づくり	新西図書館の整備	KPI	新西図書館の入館者数	70	万人（年間）	毎年（R5年度～R6年度）	—	— （移転前含み入館者 496,722人）	—
④ 本に親しめる環境づくり	新垂水図書館の整備	KPI	新垂水図書館の入館者数	60	万人（年間）	毎年（R6年度～R7年度）	—	— （現垂水図書館の入館者 333,513人 ※臨時休館1月）	—
⑤ 食都神戸の推進【再掲】	食都神戸の推進【再掲】	KPI	ローカルフードへのアクセス機会（ファーマーズマーケット、食材フェア等）【再掲】	500	回	単年（R7年度）	300	304	順調
⑤ 食都神戸の推進【再掲】	食都神戸の推進【再掲】	KPI	ローカルフードへのアクセス機会への参加者数【再掲】	30	万人	単年（R7年度）	20	20	順調
⑤ 食都神戸の推進【再掲】	食都神戸の推進【再掲】	KPI	世界へ向けた神戸の「食」または「食文化」の発信項目【再掲】	20	種類/累計	単年（R7年度）	17	33	順調
⑤ 食都神戸の推進【再掲】	食都神戸の推進【再掲】	KPI	「農」に関する体験、活動を行っている市民の人数【再掲】	100,000	人	単年（R7年度）	70,000	70,000	順調
⑤ 食都神戸の推進【再掲】	食都神戸の推進【再掲】	KPI	地域食材の利用を意識している市民・事業者の割合【再掲】	80	%	単年（R7年度）	40	55	順調
⑥ 首都圏などへの神戸の魅力発信による移住促進	魅力発信及び相談対応による移住促進	KPI	神戸市への住み替え・移住相談件数：3,000件(令和3～7年)	3,000	件	積上（R3年～R7年）	445	434	順調
⑥ 首都圏などへの神戸の魅力発信による移住促進	コウベ・インターナショナル・クラブの普及と積極的な情報提供	KPI	コウベ・インター・ナショナル・クラブ支部設置数：50支部	50	支部	単年（R7年度）	35	22	やや遅れ
⑥ 首都圏などへの神戸の魅力発信による移住促進	コウベ・インターナショナル・クラブの普及と積極的な情報提供	KPI	コウベ・インター・ナショナル・クラブ会員数	3,000	人	単年（R7年度）	1,600	648	遅れ
⑦ 神戸観光の推進	神戸観光の推進	KPI	観光消費額	3,700	億円	単年（R7年）	2,900	2,819	順調
⑦ 神戸観光の推進	神戸観光の推進	KPI	日本人延べ宿泊者数	590	万人	単年（R7年）	500	545	順調
⑦ 神戸観光の推進	神戸観光の推進	KPI	外国人延べ宿泊者数	100	万人	単年（R7年）	60	2	遅れ
⑦ 神戸観光の推進	MICEの推進	KPI	国際会議開催件数	420	件	単年（R7年）	420	22件（307） ※JNTO基準の国際会議件数は現地参加が要件だが、参考として、オンライン参加も含めた国際会議件数を()で併記	遅れ
⑧ 六甲山・摩耶山での観光と豊かな自然を活かしたアートシーンの推進	六甲山・摩耶山の活性化	KPI	観光客数（六甲・摩耶エリア）	230	万人	単年（R7年）	230	177	やや遅れ
⑨ 都心・三宮再整備の推進と回遊性の向上	都心・三宮再整備の推進	KPI	三宮周辺地区の建替えの計画件数	7	件	単年（R7年度）	5	5	順調
⑨ 都心・三宮再整備の推進と回遊性の向上	都心・三宮再整備の推進（文化施設の整備）	KPI	中央区の新たな文化施設の利用率	70	%	単年（R7年度）	68	43.8	やや遅れ
⑩ ウォーターフロントなどの魅力向上	新港突堤西地区・中突堤周辺地区の再開発及びウォーターフロント内の回遊性促進	KPI	観光客数（神戸港エリア）	700	万人	単年（R7年）	530	342	遅れ
⑪ 駅前空間の魅力向上	駅前空間の魅力向上	KPI	駅前空間クオリティアップの整備完了数	12	駅	積上（R3年度～R7年度）	—	2	順調
⑫ 須磨海岸・海浜公園の魅力向上	須磨海岸・海浜公園の魅力向上	KPI	観光客数（須磨・舞子エリア）	450	万人	単年（R7年）	305	256	やや遅れ
⑬ 地下鉄海岸線沿線・市街地西部地域の活性化	兵庫運河の魅力づくり	KPI	ライトアップ整備箇所（橋）	6	橋	単年（R7年度）	—	—	—
⑬ 地下鉄海岸線沿線・市街地西部地域の活性化	兵庫運河の魅力づくり	KPI	ライトアップ整備箇所（護岸）	1	か所	単年（R7年度）	—	—	—
⑬ 地下鉄海岸線沿線・市街地西部地域の活性化	兵庫運河の魅力づくり	KPI	ライトアップ整備箇所（プロムナード）	約1,000	m	単年（R7年度）	270	150	やや遅れ
⑬ 地下鉄海岸線沿線・市街地西部地域の活性化	兵庫運河の魅力づくり	KPI	プロムナード整備延長	約1,000	m	単年（R7年度）	270	150	やや遅れ

基本目標4 災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	行政手続きスマート化率	70	%（件数ベース）	単年（R7年度）	45.0	52.1	順調
① 防災・減災の取り組み	家庭の災害対応力の向上	KPI	家庭内備蓄の実施率	90	%以上	単年（R7年度）	90	—	—
① 防災・減災の取り組み	家庭の災害対応力の向上	KPI	感震ブレーカーの設置率	50	%以上	単年（R7年度）	50	—	—
① 防災・減災の取り組み	家庭の災害対応力の向上	KPI	家具固定の実施率	90	%以上	単年（R7年度）	90	—	—
② 災害に強いみなとづくり	災害に強いみなとづくり	KPI	鉄扉の遠隔操作化	78	基	単年（R6年度）	59	49	順調
③ 浸水に強いまちづくり	浸水対策重点地区におけるポンプ場・雨水管の整備	KPI	継続的な事業実施による床上・床下浸水を解消する地区	3	地区	積上（R3年度～R7年度）	0	0	—
④ 感染症などを踏まえた消防・救急体制の確立	withコロナ時代における安定的な消防・救急体制の確立	KPI	申請・届出などの「スマート化」	70	%（総処理件数のうち）	単年（R7年度）	46	58	順調
④ 感染症などを踏まえた消防・救急体制の確立	withコロナ時代における安定的な消防・救急体制の確立	KPI	感染防止資器材の備蓄量	6	か月分	単年（R7年度）	6	6	順調
⑤ 感染症の発生拡大に備えた保健所の体制強化や感染症予防対策の強化	神戸モデルの推進	KPI	区保健師などの巡回施設箇所数（新規施設）	全て	—	毎年（R3年度～R7年度）	全て（103施設）	43	遅れ
⑤ 感染症の発生拡大に備えた保健所の体制強化や感染症予防対策の強化	神戸モデルの推進	KPI	区保健師などの巡回施設箇所数（既存施設）	1,000	箇所／年間	毎年（R3年度～R7年度）	555（新規・既存合わせて）	434	やや遅れ
⑥ 新しい生活様式に対応した企業活動の支援【再掲】	テクノロジーを活用した企業の課題解決支援【再掲】	KPI	専門家派遣によるITなどの導入件数【再掲】	100	件	積上（R3年度～R7年度）	20	21	順調
⑦ 感染症などを踏まえた移動手段の促進	自転車の利活用促進	KPI	「コペリン」会員数	100,000	人	単年（R7年度）	79,000	85,356	順調
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み【再掲】	KPI	ストリートピアノの設置台数【再掲】	30	台	単年（R7年度）	30	32	順調
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み【再掲】	KPI	現・神戸文化ホールの利用率【再掲】	80	%	単年（R7年度）	70	64.4	順調
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み【再掲】	KPI	屋内・屋外を問わず、過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンスなど）※ネットモニターアンケート調査【再掲】	80	%以上	単年（R7年度）	72	54.9	やや遅れ
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み【再掲】	KPI	神戸の文化的な環境に対する満足度（文化施設の使いやすさ、情報の入手のし易さ、文化芸術に触れる機会など）※ネットモニターアンケート調査【再掲】	50	%以上	単年（R7年度）	46	37.3	順調
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	スポーツの振興【再掲】	KPI	国際級・全国級のスポーツイベントの開催件数【再掲】	140	件	積上（R3年度～R7年度）	28	22	やや遅れ
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	図書館サービス自動化などによる利便性向上と非接触サービスの推進	KPI	自動貸出機の利用率	50	%以上（全貸出のうち）	単年（R7年度）	40.4	42.4	順調
⑧ 感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興	図書館サービス自動化などによる利便性向上と非接触サービスの推進	KPI	キャッシュレス決済を導入する文化施設など	全施設	—	単年（R7年度）	19	18	順調
⑨ 行政手続きスマート化	来庁不要の市民サービスの向上	KPI	行政手続きスマート化率	70	%（件数ベース）	単年（R7年度）	45	52.1	順調
⑩ デジタルリテラシーの向上	デジタルリテラシーの向上	KPI	インターネットを使用する高齢者の割合	90	%	単年（R7年度）	79.5	84.7	順調
⑪ 児童生徒の学びの保障	GIGAスクール構想の実現とこれからの時代に求められる資質を育む教育の推進【再掲】	KPI	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」児童生徒（小6）の割合	全国平均以上	—	毎年（R3年度～R7年度）	全国平均以上	全国平均未満 ・全国平均（小6：77.3%） ・神戸市（小6：74.8%）	順調
⑪ 児童生徒の学びの保障	GIGAスクール構想の実現とこれからの時代に求められる資質を育む教育の推進【再掲】	KPI	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」児童生徒（中3）の割合	全国平均以上	—	毎年（R3年度～R7年度）	全国平均以上	全国平均未満 ・全国平均（中3：79.2%） ・神戸市（中3：76.7%）	順調



基本目標5 安心・健康でゆとりあるくらしの実現

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	がん検診の受診率	50.0	%	単年（R7年度）	胃46.7%、 肺46.3%、 大腸46.4%、 子宮44.8%、 乳46.9%	胃43.0% 肺44.2% 大腸44.7% 子宮40.4% 乳46.1%	順調
—	—	数値目標	65歳以上の要支援・要介護認定率	23.6	%	単年（R7年度）	21.9	21.4	順調
① 認知症神戸モデルの推進・高齢者への支援	認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の力を豊かにする	KPI	認知症高齢者など声かけ訓練（全あんしんすこやかセンターで実施）	76	センター	単年（R7年度）	25	26	順調
① 認知症神戸モデルの推進・高齢者への支援	認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の力を豊かにする	KPI	認知症サポーター養成数	150000	人	積上（R3年度～R7年度）	135,388	131,672	順調
① 認知症神戸モデルの推進・高齢者への支援	地域包括ケアの推進 ※第8期神戸市介護保険事業計画より	KPI	施設系サービス	15,387	床	単年（R7年度）	14,245	13,801	遅れ
② 障がい者への支援	障がい者が住み慣れた地域の中でともに支え合い、安心して暮らし、活躍できる社会の実現	KPI	計画相談支援専門員の人数	60	人増	積上（R3年度～R5年度）	20	21	順調
② 障がい者への支援	障がい者が住み慣れた地域の中でともに支え合い、安心して暮らし、活躍できる社会の実現	KPI	グループホーム（定員数）	1,000	人	単年（R5年度）	950	1,356	順調
③ 生活困窮者の支援	生活困窮者支援	KPI	個別支援を実施したものの内、自立に向けた目標の達成などにより支援を終える割合	7	割	単年（R7年度）	5.2	3.7	やや遅れ
④ 神戸医療産業都市の推進【再掲】	神戸未来医療構想の推進【再掲】	KPI	神戸未来医療構想に参画する神戸大学や企業による研究開発により、国産手術支援ロボットに実装される新技術の件数【再掲】	5	件	積上（R3年度～R7年度）	0	0	—
⑤ 医療の変革	予防医療・先制医療の推進	KPI	神戸医療産業都市内の企業やアカデミアなどにより、健康・医療関連データを活用し、実施された共同研究や実証試験の件数	20	件	積上（R3年度～R7年度）	4	11	順調
⑥ 「健康創造都市KOBÉ」の推進	予防医療・先制医療の推進【再掲】	KPI	神戸医療産業都市内の企業やアカデミアなどにより、健康・医療関連データを活用し、実施された共同研究や実証試験の件数【再掲】	20	件	積上（R3年度～R7年度）	4	11	順調
⑦ 地域福祉のプラットフォームの推進	多様な主体による地域活動の展開における出会い・学びのプラットフォームの推進	KPI	全区展開（多様な主体が参画する居場所）	9	区	単年（R7年度）	6	5	順調

基本目標6 将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	二酸化炭素排出量	実質ゼロ	—	単年（R32年（2050年）まで）	—	—	—
—	—	数値目標	在住者アンケート「交通や生活利便施設などの利便性が高い」の評価	85	%以上	単年（R7年度）	83.3	85.2	順調
① 空き家・空き地対策	既存住宅の流通促進	KPI	全流通戸数に対する既存住宅の流通戸数の割合	30	%	単年（R7年度）	—	—	—
① 空き家・空き地対策	管理不全空家空地の改善	KPI	老朽空家等解体支援などによる改善件数	5,000	件	積上（R3年度～R7年度）	1,000	1,138	順調
② きめ細かで持続可能な交通環境の形成	神戸市地域公共交通計画の推進	KPI	公共交通分担率	35	%	単年（R7年度）	34.2	34.4	順調
② きめ細かで持続可能な交通環境の形成	路線バスの最適配置	KPI	市バスの乗車効率	公営企業平均を上回る数値	—	毎年（R3年度～R7年度）	公営企業平均を上回る数値	令和6年1月頃に確定予定	—
② きめ細かで持続可能な交通環境の形成	多様な移動手段の導入検討	KPI	多様な移動手段の導入地区数	20	地区	積上（R3年度～R7年度）	9	8	順調
② きめ細かで持続可能な交通環境の形成	新たなモビリティサービスの導入支援	KPI	新たなモビリティを活用した事例数	10	事例	単年（R7年度）	2	11	順調
③ 交通インフラの整備	大阪湾岸道路西伸部などの整備促進	KPI	神戸西バイパス整備後の第二神明道路（玉津IC-伊川谷IC間）の平日交通量	6.4	万台/日	単年（R7年度）	—	8.7	—
④ 持続可能なまちづくりとエネルギー政策	再生可能エネルギーや水素エネルギーの利活用拡大などによるエネルギーの脱炭素化	KPI	二酸化炭素排出量	実質ゼロ	—	単年（R32年（2050年）まで）	—	—	—
⑤ 環境にやさしい移動手段の促進【再掲】	自転車の利活用促進【再掲】	KPI	「コベリン」会員数【再掲】	100,000	人	単年（R7年度）	79,000	85,356	順調
⑥ 計画的開発団地・都市公園などのリノベーション	計画的開発団地のリノベーション	KPI	取り組みを行っている地区のうち生産年齢人口の減少の緩和が図られた地区	50	%以上	単年（R7年度）	—	—	—
⑥ 計画的開発団地・都市公園などのリノベーション	都市公園のリノベーション	KPI	リノベーションする拠点公園数	10	公園	積上（R3年度～R7年度）	2	3	順調
⑦ 都心・三宮再整備の推進、駅前空間の魅力向上【再掲】	都心・三宮再整備の推進【再掲】	KPI	三宮周辺地区の建替えの計画件数【再掲】	7	件	単年（R7年度）	5	5	順調
⑦ 都心・三宮再整備の推進、駅前空間の魅力向上【再掲】	駅前空間の魅力向上【再掲】	KPI	駅前空間クオリティアップの整備完了数【再掲】	12	駅	積上（R3年度～R7年度）	—	2	順調
⑧ 持続的な農漁業振興のための環境づくり	里山・農村地域活性化ビジョンの推進【再掲】	KPI	営農組織の広域化・法人化【再掲】	5	件	積上（R3年度～R7年度）	1	0	遅れ
⑧ 持続的な農漁業環境の保全	里山・農村地域活性化ビジョンの推進【再掲】	KPI	省力化農業用機械の導入件数【再掲】	50	件	積上（R3年度～R7年度）	10	11	順調
⑧ 持続的な農漁業環境の保全	里山・農村地域活性化ビジョンの推進【再掲】	KPI	農村移住件数【再掲】	75	件	積上（R3年度～R7年度）	15	16	順調
⑧ 持続的な農漁業環境の保全	里山・農村地域活性化ビジョンの推進【再掲】	KPI	農村地域における起業数【再掲】	125	件	積上（R3年度～R7年度）	25	39	順調



基本目標7 多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化

施策	事業	種類	数値目標・KPI指標				R4目標	R4実績	R4進捗状況
			指標名	目標値	単位	目標時点			
—	—	数値目標	市内留学生数(大学・短大)	5,000	人	単年 (R7年度)	4,350	4,166	順調
—	—	数値目標	民間事業者と連携して実施したプロジェクト数	700	プロジェクト	積上 (R3年度～R7年度)	140	183	順調
① 地域活動の活性化	顔の見える地域社会づくりと支えあい活動の推進	KPI	地域福祉センターの子育て世代の利用割合	4	割	単年 (R7年度)	地域福祉センター利用者の若年世代(40歳代以下)の割合を12%以上にする (※利用者満足度調査ベース)	11.12%	順調
② 防災・減災の取り組み【再掲】	家庭の災害対応力の向上【再掲】	KPI	家庭内備蓄の実施率【再掲】	90	%以上	単年 (R7年度)	90	—	—
② 防災・減災の取り組み【再掲】	家庭の災害対応力の向上【再掲】	KPI	感震ブレーカーの設置率【再掲】	50	%以上	単年 (R7年度)	50	—	—
② 防災・減災の取り組み【再掲】	家庭の災害対応力の向上【再掲】	KPI	家具固定の実施率【再掲】	90	%以上	単年 (R7年度)	90	—	—
③ 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信【再掲】	幼稚園預かり保育事業【再掲】	KPI	利用者数(延べ)【再掲】	854,451	人	単年 (R6年度)	889,824	790,928	順調
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信【再掲】	一時保育事業【再掲】	KPI	利用者数(延べ)【再掲】	69,846	人	単年 (R6年度)	72,525	46,894	やや遅れ
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信【再掲】	子育てリフレッシュステイ事業【再掲】	KPI	ショートステイ利用者数(延べ)【再掲】	1,355	人	単年 (R6年度)	1,696	1,524	順調
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信【再掲】	子育てリフレッシュステイ事業【再掲】	KPI	デイサービス利用者数(延べ)【再掲】	1,484	人	単年 (R6年度)	1,792	1,420	やや遅れ
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信【再掲】	地域子育て支援拠点事業【再掲】	KPI	箇所数(地域子育て支援拠点)【再掲】	141	箇所	単年 (R6年度)	141	150	順調
① 妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信【再掲】	ファミリー・サポート・センター事業【再掲】	KPI	利用者数(週あたり延べ)【再掲】	519	人/週	単年 (R6年度)	542	218	遅れ
④ 地域福祉のプラットフォームの推進【再掲】	多様な主体による地域活動の展開における出会い・学びのプラットフォームの推進【再掲】	KPI	全区展開(多様な主体が参画する居場所)【再掲】	9	区	単年 (R7年度)	6	5	やや遅れ
⑤ 大学などとの連携促進【再掲】	地域連携プラットフォーム(仮称)構築の検討【再掲】	KPI	「地域連携プラットフォーム(仮称)」の構築【再掲】	構築完了	—	単年 (R3年度)	—	未構築	遅れ
② 大学などとの連携促進【再掲】	外国人留学生の戦略的獲得と定着【再掲】	KPI	市内留学生数(大学・短大)	5,000	人	単年 (R7年度)	4,350	4,166	順調
⑥ 在住外国人との共生の推進【再掲】	総合的な日本語学習プラットフォームの構築【再掲】	KPI	市内日本語学習関連拠点の維持・拡充【再掲】	55	か所	単年 (R7年度)	53	52	順調
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	総合的な日本語学習プラットフォームの構築【再掲】	KPI	地域日本語教室における学習者数【再掲】	2,000	人	単年 (R7年度)	1,400	1,430	順調
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	総合的な日本語学習プラットフォームの構築【再掲】	KPI	企業などへの日本語教師の年間紹介件数【再掲】	20	件	単年 (R7年度)	5	2	遅れ
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	在住外国人への情報発信及び言語サービスの充実【再掲】	KPI	外国人向けの広報物の多言語(英中越・やさしい日本語)対応率【再掲】	100	%	単年 (R7年度)	40	81	順調
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	在住外国人への情報発信及び言語サービスの充実【再掲】	KPI	外国人向け双方向型情報共有ネットワークの提携拠点設置数【再掲】	100	拠点(全区で)	単年 (R7年度)	53	58	順調
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	地域コミュニティへの外国人流入の活性化【再掲】	KPI	多文化共生推進拠点の増設【再掲】	3	か所	積上 (R7年度)	3	4	順調
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	地域コミュニティへの外国人流入の活性化【再掲】	KPI	多文化共生推進拠点への年間合計来館者数【再掲】	60,000	人	単年 (R7年度)	40,000	32,684	順調
③ 在住外国人との共生の推進【再掲】	地域コミュニティへの外国人流入の活性化【再掲】	KPI	多文化交流員などの年間派遣件数【再掲】	100	件	単年 (R7年度)	65	79	順調
⑦ 空き家・空き地対策【再掲】	既存住宅の流通促進【再掲】	KPI	全流通戸数に対する既存住宅の流通戸数の割合【再掲】	30	%	単年 (R7年度)	—	—	—
⑦ 空き家・空き地対策【再掲】	管理不全空家空地の改善【再掲】	KPI	老朽空家等解体支援などによる改善件数【再掲】	5,000	件	積上 (R3年度～R7年度)	1,000	1,138	順調

次期「基本構想」策定に向けた意見収集の状況について  
 【令和5年10月 総務財政委員会資料】

1. 概要

本市の「総合基本計画（基本構想・基本計画・実施計画）」がいずれも令和7年度に計画終期を迎えるため、次期「総合基本計画」の策定に着手している。

今年7月から、まちの基本理念である「基本構想」の約30年ぶりの策定に向け、アンケートやワークショップを通じて、市民等から「神戸のまちやひとの魅力」や「未来の神戸へ紡ぐべき価値観」など様々な意見を収集しており、その状況について報告する。

2. アンケートについて

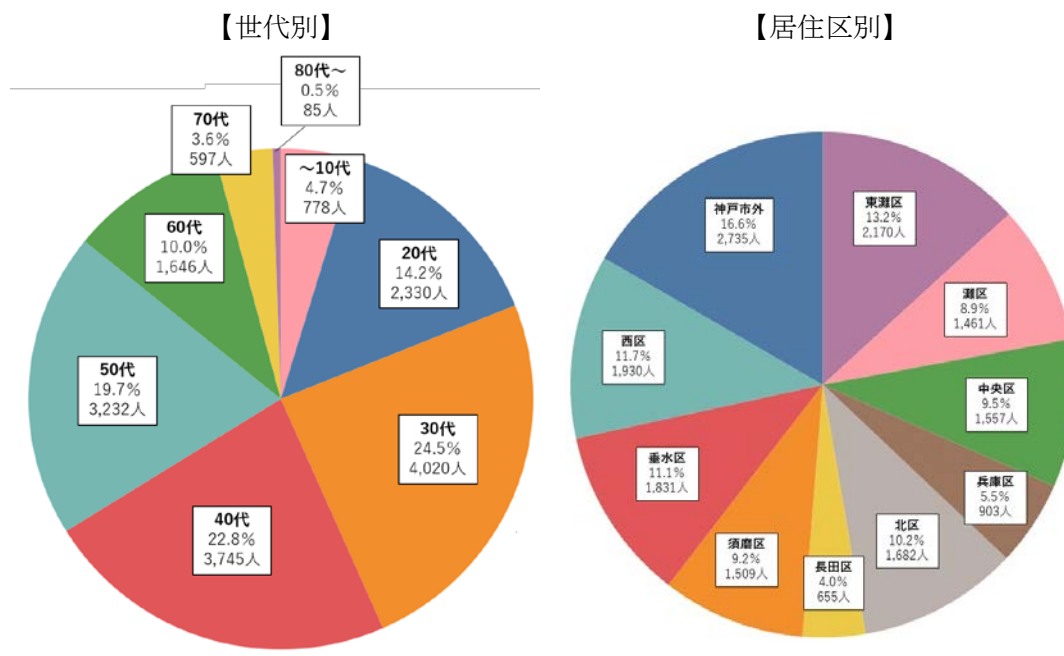
(1) 回答結果

実施期間：令和5年7月11日（火）～9月30日（土）

実施方法：Web アンケート

回答者数：16,433人

○回答者内訳



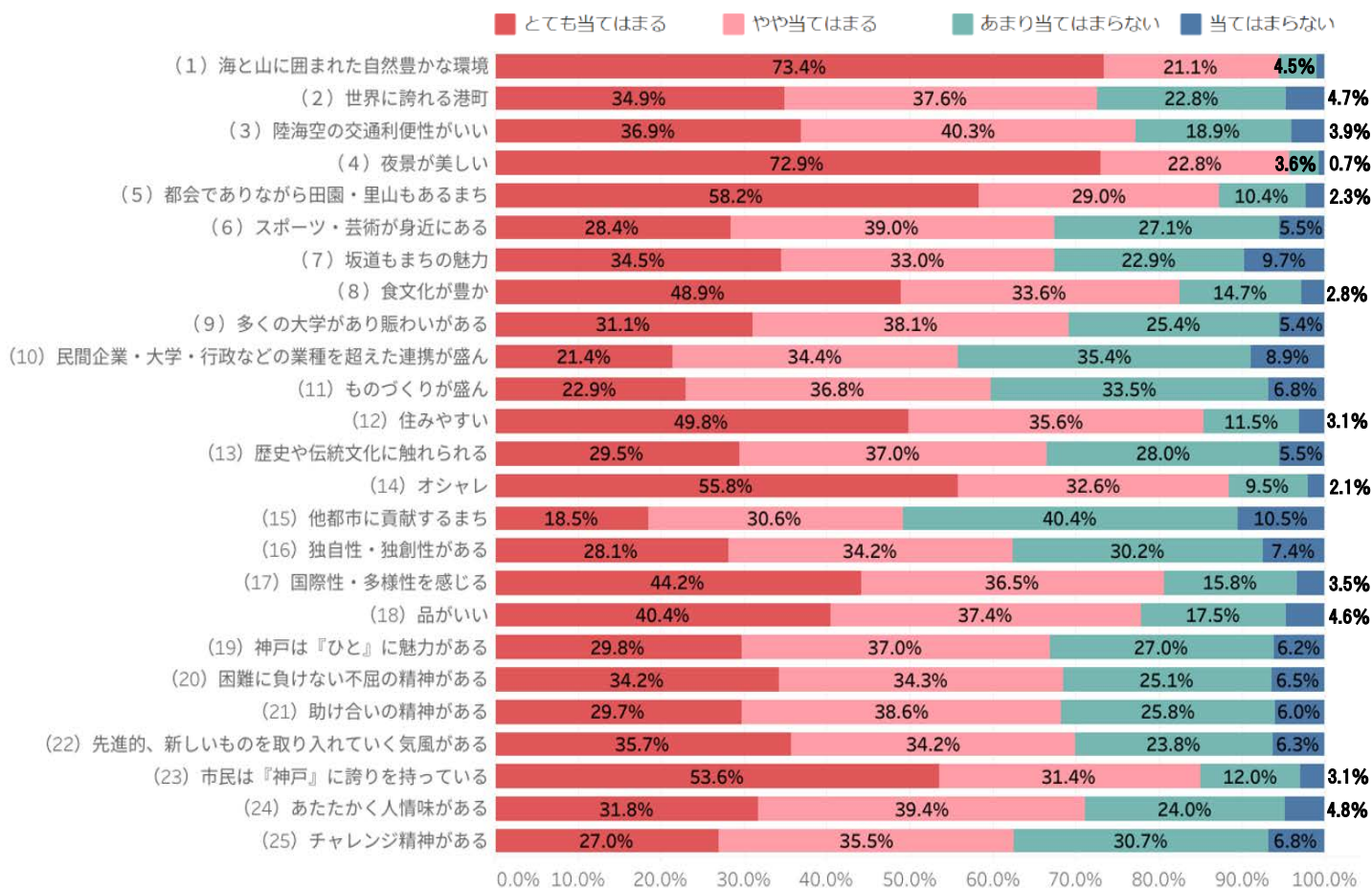
(2) 回答集計

【問1】あなたが思う『神戸といえば〇〇やんなあ』や『神戸のひとつ〇〇なところ、ある』を教えてください

(選択式・25問)

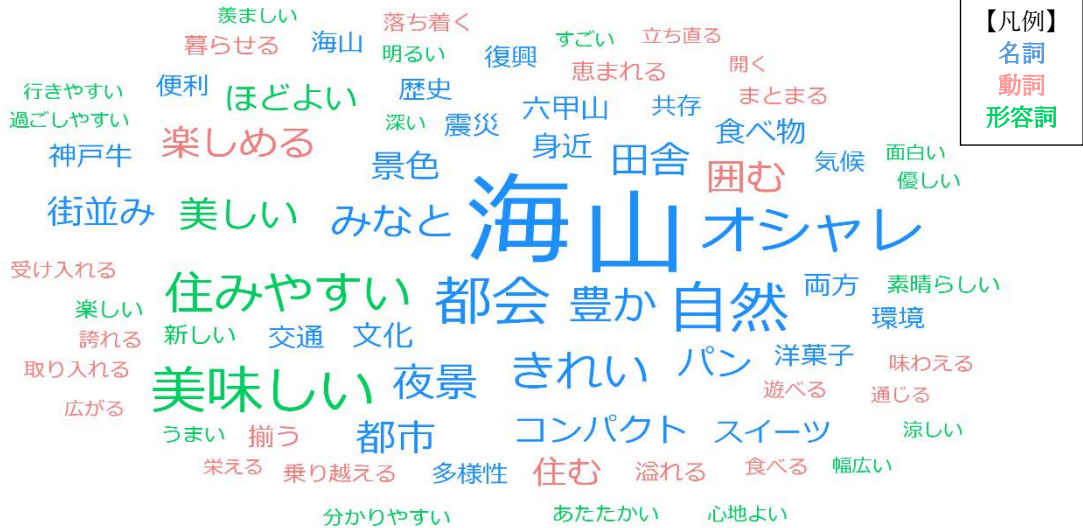
- 4 : とても当てはまる  
 3 : やや当てはまる  
 2 : あまり当てはまらない  
 1 : 当てはまらない

○回答結果 問1



【問2】『神戸の自慢できること』をひと言でお願いします

○頻出キーワード（※ワードクラウド）

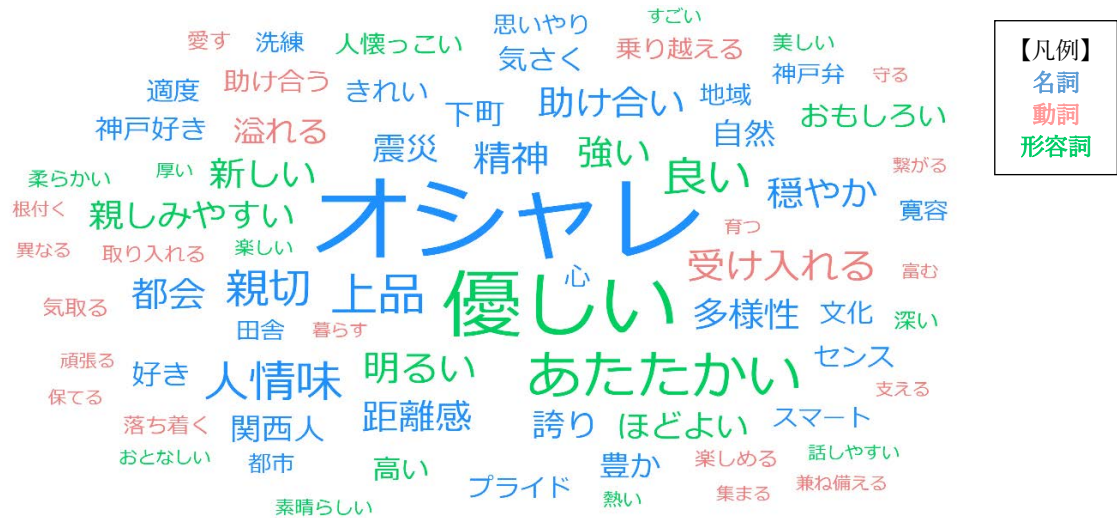


○主な意見（抜粋）

- ・海と山が近いので週末日帰り旅行のバリエーションが多い
- ・コンパクトで、まちと山も近く、程よく都会で住みやすい
- ・お洒落なまちと豊かな自然の共存
- ・なんでもあるところ、海も山も温泉も田舎も都会も橋も
- ・いつの時代も新たな文化が入ってくる、風通しの良さと新しいことを受け入れる精神
- ・「出身は神戸です」と自信をもって言えること
- ・神戸ナンバーの車、県外を走ると憧れの的になる（らしい）

【問3】『神戸のひとの魅力』をひと言でお願いします

○頻出キーワード（※ワードクラウド）



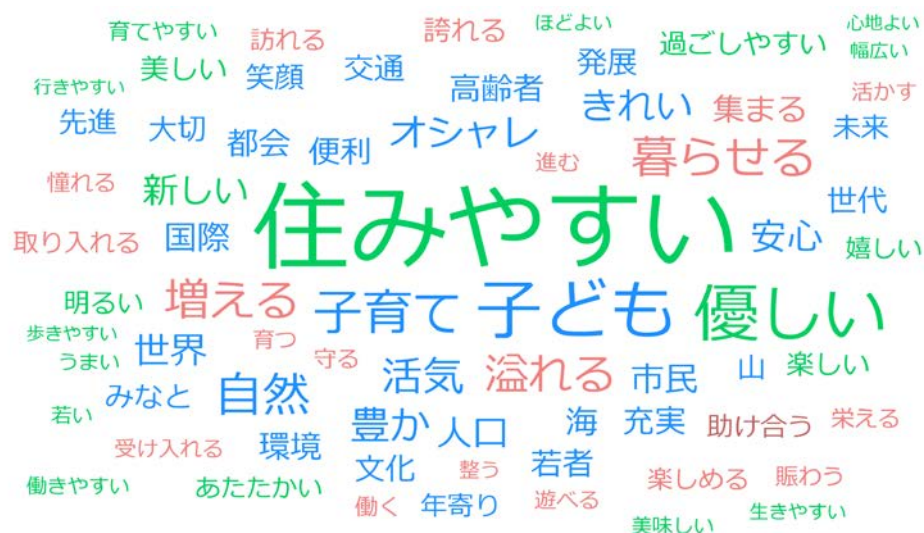


○主な意見（抜粋）

- ・下町の人情もありつつ、都会のオシャレさも併せ持っている
- ・他地域の方を自然に受け入れてくれる優しさ
- ・市民が神戸に誇りを持っていること
- ・適度な距離感、仲良くなったらとても人情深い
- ・助け合いの精神（阪神・淡路大震災の教訓）
- ・お年寄りが元気なまち、登山で元気な人が多い
- ・まちづくりへ積極的に参画する気風がある

【問4】『未来の神戸がこうだったらいいな』を一言でお願いします

○頻出キーワード（※ワードクラウド）



【凡例】  
名詞  
動詞  
形容詞

○主な意見（抜粋）

- ・子どもからお年寄り、障がいがある方、男、女関係なく、すべての人が自分らしく幸せに生きられる神戸
- ・将来に希望をもって子育てができるまち
- ・古いまちも新しいまちもどちらも活気であふれている
- ・人と自然を活かすまち
- ・「日本？KOBЕのある国だね！」と言わせたい
- ・自然を大切に守りつつ、ワクワクするような新技術も取り入れたまち

※ワードクラウド…ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析結果を視覚化したグラフ

### 3. ワークショップについて

神戸のまちやひとの魅力、未来の神戸に紡ぎたいことなど、市民等と直接意見交換するワークショップ「TALKING CIRCLE KOBE」や関連行事を順次開催している。

#### 【開催状況】

日程	内容	場所	参加者数
7月28日(金)	プレワークショップ (若手職員・関係者対象)	東遊園地 アーバンピクニック	30名
7月29日(土)	神戸ファミリーフォトプロジェクト (小中学生・親子対象)	市役所4号館・東遊園地	延べ
8月26日(土)			58名
8月27日(日)	ワークショップ(東灘区)	神戸酒心館 酒心館ホール	20名
9月16日(土)	ワークショップ(中央区)	ハーバーランド umie	21名
9月23日(土)	ワークショップ(須磨区)	海浜公園内 須磨ホール	23名
9月24日(日)	ワークショップ(西区)	なでしこ芸術文化センター	23名



ファミリーフォトプロジェクト



ワークショップ



ワークショップ



ワークショップ

#### 【今後の開催予定】

今後も11月にかけて、上記以外の6区(北神地区を含む)及び東京会場、オンラインによるワークショップを予定している。

#### 4. はじめての市政参画

約30年ぶりとなる「基本構想」の策定を機に、子どもたちの未来の神戸への期待感やシビックプライドを醸成していくため、市立小中学生等（小学生は4年生以上）を対象に、学習用端末を使ったアンケート参加による市政参画体験の機会を創出した。

（アンケート実施期間：令和5年9月25日（月）～10月13日（金））



#### 5. 次期「基本構想」策定にかかる今後の予定

##### ・令和5年度

10月下旬～ 第2弾アンケートの実施

11月 神戸2025ビジョン推進会議において、現「基本構想」の振り返り

3月 総務財政委員会において、次期「基本構想（素案）」の報告

##### ・令和6年度

春～秋頃 神戸市総合基本計画審議会（3回程度）に、次期「基本構想（素案）」を諮問  
パブリックコメントを経て、神戸市総合基本計画審議会から答申  
（議論の進捗等は、適宜総務財政委員会へ報告）

秋～冬頃 次期「基本構想」の議決・策定

1993年と現在の比較

分類	データ			コメント	資料（出典）	
	指標	1993年	現在			
総人口	人口数（全国）	124,938千人	125,502千人(2021)	微増だが、近年は減少		
高齢化	人口構成（全国）	～14歳：16.7%	～14歳：11.8%(2021)	少子高齢化が進んだ	都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）	
		15～64歳：69.7%	15～64歳：59.3%(2021)			
		65歳～：13.5%	65歳～：28.9%(2021)			
	生産年齢人口（全国）	87,022千人	74,470千人(2021)	労働力が減少している		
	社会保障費/GDP（全国）	11.82%	24.69%(2020)	社会保障費が大きく増加	厚生労働省資料・国民経済計算	
少子化	合計特殊出生率（全国）	1.46	1.26(2022)	出生率はさらに低下	人口動態統計	
	婚姻率（人口1000人あたり）（全国）	6.4	4.1(2022)	結婚しない人が増えた		
格差	ジニ係数（当初所得）（全国）	0.4394	0.5594(2017)	所得格差が拡大している	所得再分配調査	
	生活保護率（全国）	0.71%	1.63%(2022)	高齢化と経済状況の悪化によって保護率は上昇した	厚生労働省資料	
	生活保護率（神戸市）	1.51%	2.86%(2021)		神戸市HP	
自殺	自殺者数（全国）	22,445人（1995）	21881人(2022)	ほぼ横ばい	警察庁「自殺統計」	
東京一極集中	人口（東京/全国）	9.48%	11.2%(2021)	東京一極集中が進んだ	都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）	
	事業所数（東京/全国）	11.68%(1991)	14.28%(2019)		事業所・企業統計調査・経済センサス	
経済	GDP	日本経済	511,959（10億円）	561,884（10億円）（2022）	経済は停滞している	国民経済計算
		GRP	兵庫県	20,490(10億円)		21,736（10億円）（2020）
	神戸市		6,265(10億円）（2006）	7,120（10億円）（2019）		神戸市HP
産業構造	就業者数の割合（全国）	第一次産業5.9% 第二次産業33.7% 第三次産業60.3%	第一次産業3.1%(2022) 第二次産業22.7%(2022) 第三次産業74.3%(2022)	第三次産業の割合が上昇した	総務省「労働力調査」	
農業	生産額（全国）	10,407（10億円）	8,838（10億円）（2021）	産業としての重要性は小さくなっている	都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）	
	生産額（兵庫県）	211（10億円）	148（10億円）（2020）		兵庫県HP	
観光	インバウンドの増加（全国）	3,410,447人	31,882,049人（2019）	日本への外国人旅行者は10倍弱に増加した	観光庁調査	
港湾	取扱貨物量（全国：外国+国内）	3,267(百万トン)	2,572(百万トン)(2021)	全国の貨物量は大きく減少	港湾統計	
		3,087(百万トン)(1999)	2,572(百万トン)(2021)			
	取扱貨物量（神戸：外国+国内）	82.8(百万トン)(1999)	90.3(百万トン)(2021)			
女性の労働参加	労働力人口（全国・女性）	2,681万人	3,128万人（2023.5）	女性の労働参加は増加	労働力調査	
	労働力人口比率（全国・女性）	50.30%	54.2%(2022)			
高齢者の労働参加	労働力人口のうち、65歳以上の人口（全国・65歳以上）	445万人(1995)	926万人(2021)	高齢者の労働参加が進んだ		
	労働力人口のうち、65歳以上の人口比率（全国・65歳以上）	6.7%(1995)	13.4%(2021)			
外国人	外国人数（全国）	1,281,644人（1992）	3,075,213人(2022.12)	在留外国人は倍増。神戸市は横ばい	在留外国人統計	
	外国人数（神戸市）	43,671人	52,696人(2023.6)		神戸市HP	
DXの推進	インターネット普及率（全国）	9.2%(1997)	84.9%(2022)	インターネットは大きく普及	通信利用動向調査	
空き家	空き家数（全国）	4,475,800戸	8,488,600戸(2018)	空き家が大きく増加	住宅・土地統計調査	
	空き家数（神戸市）	61,700戸	109,200戸（2018）			
	空き家率（全国）	9.80%	13.6%(2018)			
	空き家率（神戸市）	10.00%	13.3%(2018)			
住宅	住宅着工戸数（全国）	1,485,684戸(1993)	859,529戸(2022)	住宅の着工は大きく減少	建築着工統計調査	
公民連携の拡大	PFI事業数（全国）	3事業(1999)	58事業(2021)	社会資本整備における公民連携は増加	内閣府資料	
地球温暖化	世界の年平均気温偏差	-0.35	0.24※(2022.1～11月)	地球温暖化が進んだ	国土交通省気象庁HP	



主な出来事（BE KOBE 神戸の近現代史より抜粋）

年次	主な出来事
1989年（平成元年）	第14代 笹山市長就任
1992年（平成4年）	ハーバーランド街びらき、六甲アイランド埋め立て完了、人口150万人突破
1993年（平成5年）	アーバンリゾートフェア神戸'93開催
	「新・神戸市基本構想」策定
1995年（平成7年）	阪神・淡路大震災
	神戸市復興計画策定、神戸ルミナリエ初開催
1997年（平成9年）	神戸開港130年記念式典で「神戸港復興宣言」発表
1998年（平成10年）	明石海峡大橋開通
1999年（平成11年）	神戸港港島トンネル開通
2000年（平成12年）	ジャイアントパンダが王子公園に来園
2001年（平成13年）	KOBE2001ひと・まち・みらい（神戸21世紀・復興記念事業）開催
	市営地下鉄海岸線開通
	第15代 矢田市長就任
2002年（平成14年）	日韓共催サッカーワールドカップ（神戸で3試合開催）
2004年（平成15年）	阪神港スーパー中核港湾指定
2005年（平成17年）	「震災から10年神戸からの発信」開催
2006年（平成18年）	神戸空港マリンエア開港、のじぎく兵庫国体・兵庫大会開催
2008年（平成20年）	G8環境大臣会合開催、ユネスコ「デザイン都市」に認定
2009年（平成21年）	新型インフルエンザ世界的流行、市政120周年記念式典、鉄人28号モニュメント
2011年（平成23年）	人口154,4万人
	第1回神戸マラソン
2012年（平成24年）	スーパーコンピューター「京」供用開始、関西広域連合に加入
2013年（平成25年）	第16代 久元市長就任
2015年（平成27年）	神戸ジャズの日「KOBE JAZZ DAY4/4」制定、総延長59.8km防潮堤等完成
2016年（平成28年）	大容量送水管完成、G7保険大臣会合開催
2017年（平成29年）	BE KOBEモニュメント、メリケンパークに設置、認知症の人にやさしいまちづくり条例
2018年（平成30年）	神戸空港のコンセッション開始
2019年（令和元年）	市制130周年記念式典、ラグビーワールドカップ開催
2020年（令和2年）	新型コロナウイルス、全世界で猛威
2021年（令和3年）	スーパーコンピューター「富岳」供用開始
2022年（令和4年）	「こども本の森 神戸」東遊園地に開設

デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生関係交付金)実績シート

令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金・旧地方創生拠点整備交付金)

**1 閉園幼稚園を活用した「地域の方の働く場」及び「地域活性化の場」の整備**  
**【事業の概要】**  
 若年・子育て世帯の流入促進と流出抑制を進めるため、若年世帯に求められる共働きや職住近接等のライフスタイルに対応し、就業場所が限られている名谷エリアで、子育て中の方など短時間勤務を希望される方を対象とした新たな雇用を創出する「地域の方の働く場」を整備するとともに、子育て世代・若者・高齢者など様々な世代が集うことができる「地域活性化の場」をあわせて整備することにより、多世代交流の機会を創出し、地域の活力を維持向上させ多世代のひとが共生し持続可能なまちづくりを推進することで地方創生の実現につなげる。

**【KPI 令和4年度実績】** ()内は目標値  
 ①「地域の方の働く場」の雇用者数のうち若年・子育て世帯かつ新規就業者(49歳以下かつ直前未就業者) : 21人増(10人増)  
 ②「地域の方の働く場」の若年・子育て世帯の就業者(49歳以下)の中で「地域活性化の場」での地域コミュニティ活動参加者割合 : 43%増(5%増)

**2 革新的な医療技術の創出を加速させる次世代医療開発センター整備事業**  
**【事業の概要】**  
 オープンノベーション拠点ビルに、最先端の研究設備や動物実験設備、共同ラボスペースを備えた「次世代医療開発センター」を設置し、共同利用を促すことにより、集積する企業や新たに拠点ビルに入居する企業による医薬品等の研究開発を効果的に支援し、革新的な医療技術等のイノベーションを創出し、神戸市の医療産業を更に発展させ、神戸市の所得拡大や更なる「まち」の活性化を図る。

**【KPI 令和4年度実績】** ()内は目標値  
 ①神戸市における医療・福祉関連産業の付加価値額 : - (100億円増) ※集計中のため未確定  
 ②当該事業を通じて集積した企業等との共同研究開発契約締結数 : 3件増(1件増)  
 ③次世代医療開発センター利用件数 : 10件増(10件増)

**3 シミュレーション技術とビッグデータ処理技術の高度連携によるものづくり革新拠点整備事業**  
**【事業の概要】** (兵庫県との共同事業)  
 ・産業界が、スーパーコンピュータ「富岳」を利用するために必要な技術レベルを身につけるトレーニング環境を整えるため、高度計算科学研究支援センターを高度化整備する。高度化により、ものづくり革新に不可欠な高度シミュレーション技術やビッグデータ処理技術の産業界への普及を加速させ、大型放射光施設Spring-8を活用した革新的材料開発や神戸医療産業都市における創業研究等との相乗効果も生み出しながら、地域経済の活性化を図る。

**【KPI 令和4年度実績】** ()内は目標値  
 ①県内の金属関連産業(新素材含む)の製造品出荷額等を、2023年度までに約341億円増加させる : - (11,300百万円増) ※集計中のため未確定  
 ②神戸医療産業都市進出企業件数を、2023年度までに24件増加させる : 14件減(6件増)  
 ③本事業の実施により、新たに1,056人の雇用を創出する : - (300人増) ※集計中のため未確定

#### 4 神戸アートビレッジセンターリニューアル事業整備計画

##### 【事業の概要】

神戸アートビレッジセンターを、時代に即した機能へと見直しを図り、アーティストやアートに関心がある人々だけでなく、地域の人々や若者など一般の市民が日常的に訪れ利用される開かれた施設としつつ、訪れた人がアートに出会うきっかけを提供することで、地域活性化および文化芸術振興につなげることを目指し、各フロアのリニューアルを行う。

##### 【KPI 令和4年度実績】 ()内は目標値

①施設入場者数

②貸館利用率

③施設周辺地域における若年世代の人口増加数

(新開地1～6丁目、水木通1丁目、中道通1丁目、湊町1～4丁目の0～39歳)

※令和4年度中の供用開始予定が、令和5年4月に供用開始となり、令和4年度実績なし。

#### 5 Be Smart KOBE 「Human×Smart」な都市づくり

##### 【事業の概要】

最先端技術を保有する事業者を「Be Smart KOBE」公募プロジェクトとして募集し、神戸市内での技術実証・実装を支援することで、先進技術を活用したサービスのさらなる創出につなげ、さらにオンライン診療（健康相談）を核とした地域サービス拠点設置に向けた支援を行う。また、データ連携基盤を整備することで、幅広い分野のビッグデータやリアルタイムデータ等の利活用ができる仕組みとすることで、先進的・挑戦的な企業・人材を引き付ける。

神戸市がこのような新しいことにチャレンジできるまち、人間らしさを大事にした魅力あるスマートなまちであることを世界に発信する。

##### 【KPI 令和4年度実績】 ()内は目標値

①先端技術の導入エリアでの活動人数（居住・労働等）の増：10人増（30人増）

②最先端技術又はデータ連携基盤を活用した事業の導入件数：18件増（30件増）

③オンライン診療を核とした地域サービスラボ、移動ラボ利用者数：22人（30人増）

④データ連携基盤にセンサーから取り込むリアルタイムデータ件数：0件（5件増）

## 6 次世代産業を核とした地域振興プロジェクト

### 【事業の概要】（兵庫県との共同事業）

宇宙・航空機、ロボット、医療機器、次世代エネルギー等の分野において、市場参入、事業拡大に挑戦する中堅・中小企業に対して、製品開発、人材育成等による雇用拡大支援を推進するため、技術革新、新製品開発、事業創造に向けた、新たなサプライチェーン、バリューチェーンの形成促進や放射光施設とスーパーコンピュータの融合利用による技術高度化支援、県外高度人材との交流や県内技術者の技術力の高度化、大学・高校における理系教育環境の整備や地元学生に対する科学教育を推進する。

### 【KPI 令和4年度実績】（）内は目標値

- ①次世代産業生産額：－（31億円増）※調査中止のため算出困難
- ②次世代産業創出プロジェクト参加企業数：43社増（23社増）
- ③県内大学の理系学生の県内就職率 0.6%減（1%増）
- ④将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合：－（1%増）※調査中止のため算出困難

## 7 多自然地域における新たなワークスペースプロジェクト

### 【事業の概要】（兵庫県・姫路市との共同事業）

多彩な地域資源を有する地域に、リモートワークやワーケーションのモデル・プロジェクトを展開し、新たなワークスペースを創造し、起業家育成拠点の設置運営、ネットワークの強化、連携・交流促進を行う。

### 【KPI 令和4年度実績】（）内は目標値

- ①支援事業を通じた起業家数：195人増（150人増）
- ②県内観光入込客数：－（500万人増）※集計中のため未確定
- ③県内宿泊者数：375万人増（延べ）（50万人増（延べ））

## 8 食都神戸の推進（食文化の創造による都市ブランドの再構築）

### 【事業の概要】

都市地域と農漁業地域が近接した神戸独自のポテンシャルを最大限に活用し、神戸産農水産物を使用したホテル・飲食店等の拡大、里山の水や木材を活用した商品開発など、食ビジネスを育て、食ビジネスを活かす戦略として「食都神戸」を掲げ、世界の人々が集い、食で賑わう、そんな世界に誇る食文化の都の創造をすすめることで、神戸の都市ブランドとして再構築することを目指す。また、海外からも評価される都市ブランドを構築することで、食の魅力で国内の若者をも惹きつける。神戸の持つ「都心と里山とが隣接し、食が豊かな暮らし」をアピールし、東京圏をはじめとした大都市圏から移住の促進、ひいては新たな食都神戸の担い手づくりにつなげていく。

### 【KPI 令和4年度実績】（）内は目標値

- ①事業実施により増加した交流人口・関係人口数：11,816人増（5,500人増）
- ②事業実施により増加した神戸での就農や食の起業数：40戸増（35戸増）
- ③事業実施により増加した神戸の地域食材の活用事業者数：151社増（155社増）

## 9 ゴールデンスポーツイヤーズを活用した神戸へのインバウンド誘客促進

### 【事業の概要】

ゴールデンスポーツイヤーズという世界からの注目が高まる機会を最大限活用し、欧米豪をターゲットとした観光プロモーションの実施や体験型コンテンツの造成、ICT（キャッシュレス等）対応、案内板・解説板の多言語化、バリアフリー対応等の受入環境を整備する。これまでリーチできていなかった欧米豪をターゲットに神戸への関心を高め、神戸の奥深い魅力を感じてもらうことで、リピート客の獲得を図っていく。

### 【KPI 令和4年度実績】（）内は目標値

- ①外国人延べ宿泊者数：2万人増（2万人増）
- ②外国人延べ宿泊者数の増に伴う観光消費額の増加額：5.92億円増（6億円増）

## 10 多様な働き方の推進と戦略的プロモーション

### 【事業の概要】

宿泊施設等を活用したコワーキングスペース等の設置や新たな移住・住み替えプランの造成促進や、副業・兼業を加えた神戸ならではのワーケーションの促進等、多様な働き方を推進し、関係人口の創出・拡大を図る。

また、SNSを活用した「会話型」コミュニケーションにより、親近感を創出・醸成し、神戸を「語ってもらおう」場を形成することで、ワーケーションへの参加、観光や移住を考える際に神戸市が選ばれることを目指す。

### 【KPI 令和4年度実績】（）内は目標値

- ①東京圏からの転入者数：308人増（300人増）
- ②ふるさと回帰支援センターでの神戸市への移住相談件数（セミナーにおける相談件数含む）：434件増（130件増）
- ③事業実施により増加したワーケーション参加人数：57人増（30人増）

## 11 こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト

### 【事業の概要】

女性の再就職・キャリアアップ支援と支援モデルを構築し、女性リーダーの育成・ネットワークづくり支援を実施していく。さらに、市内中小企業に対し、女性活躍や多様な働き方の促進を支援するため、セミナー等を開催するほか、女性活躍やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の認定制度を創設し、市内企業に向けて女性活躍の取組みの紹介・発信を行う。また、理工系進学を目指す女子学生を対象に、市内企業等と連携したラボ見学等を実施する。

あわせて、起業家を志す女性に向けた実践型伴走支援プログラムを実施することで、女性が働く希望を叶え、ライフイベントに左右されず、多様な働き方を選択しながらキャリアを築き、活躍できるまちの実現を目指す。

### 【KPI 令和4年度実績】（）内は目標値

- ①事業実施により再就職又は非正規から正規雇用労働に転換した女性の数：－（55人増）  
※集計中のため未確定
- ②女性リーダー育成プログラムを受講した女性の数：80人増（30人増）
- ③事業実施により女性活躍・多様な働き方への新たな取り組みを行った企業の数：39社増（150社増）
- ④女性起業家育成プログラムを受講した女性の数：78人増（20人増）

## 12 全方面からの人口誘因のための“こうべぐらし”推進

### 【事業の概要】

「こうべぐらしコンシェルジュデスク」を設置し、全方面から神戸へ住み替えを検討している方への神戸暮らしの紹介や支援制度のワンストップ案内、現地案内を行う。また、東京圏において戦略的プロモーションを実施し、東京をはじめとして全国的に神戸市の住む場所としての魅力を発信する。

### 【KPI 令和4年度実績】 ()内は目標値

- ①本事業で関わりを持った移住検討者のうち神戸市に移住した人数：51人増（10人増）
- ②「こうべぐらしコンシェルジュ」相談件数：434件増（200件増）
- ③Webサイト「こうべぐらし」年間アクセス数：20,619件増（2,672件増）

## 13 店舗型モビリティの集積による上質な滞留空間の創出とまちのにぎわいづくり

### 【事業の概要】

JR三ノ宮駅の南側において、キッチンカーなどのモビリティビジネスを誘致し、テーブルやwi-fi等快適に過ごせる空間を作り、神戸の玄関口にふさわしいエリアを展開し、人流データ等を用いて事業をブラッシュアップしていく。また、他の駅や住宅団地などにも店舗型モビリティを誘致し、市内広域で出店場所の整備を行っていく。

### 【KPI 令和4年度実績】 ()内は目標値

- ①出店エリアでの売上高：131,745千円増（60,000千円増）
- ②新規飲食店営業許可申請数（キッチンカー）：207件増（100件増）
- ③都市空間における滞留者数：55,885人増（50,000人増）

## 14 「ローカルイノベーションHUB」による共創の推進事業と人材育成

### 【事業の概要】

ローカルイノベーションHUBを設置し、これまでつながりがなかった団体・組織の交流や連携を促し、新たなプロジェクトの共創やイノベーション創出につなげていく。また、地域の課題解決に取り組み、自組織や他組織の調整ができる人材を育成し、プレイヤーやコーディネーターを育成していく。さらに企業・団体が主体的に地域・社会課題解決に取り組む活動等に対し、これらの促進・加速化を図るための支援を実施することで、市民が主役・主体となり、まち全体で課題を解決できる、持続可能な社会・都市の構築を目指す。

### 【KPI 令和4年度実績】 ()内は目標値

- ①ローカルイノベーションHUBを通じ、新たに設立された団体数：0団体増（2団体増）
- ②ローカルイノベーションHUBを通じて創出されたプロジェクト数：0件増（5件増）
- ③イノベーション補助により、民間等が地域課題解決に取り組んだ件数：34件増（50件増）
- ④ローカルイノベーション人材数：15人増（15人増）



## 令和5年度 新規取組事業

### 1 玉津庁舎利活用部分施設整備

#### 【事業の概要】

玉津庁舎の一部を、カフェスペース、キッズスペース等の住民ニーズが高く、施設を目的として人を集めることができる機能を集約し拠点として整備する。拠点において、地元農産品の販売や地域資源を活用したイベント等を開催し、周辺地域の活性化につなげるとともに、市の子育て支援等の施策を実施することで、住民サービスの拠点としてのプレゼンスも高め、ワンストップ型の窓口としての機能が発揮できることを目指す。

これらにより、多世代が集い、交流が生まれ、地域コミュニティの活性化や賑わいづくり等につなげていく。

#### 【令和5年度の取組】

##### ○令和5年度

・玉津庁舎の一部を、多世代交流の場として整備する。

##### ○令和5年度KPI

##### ①施設利用者数

##### ②若者世代の地域活動への参加人数

##### ③イベント参加人数

##### ④地域活動に対する意識の醸成

※令和5年度は、整備工事中のため、項目のみ記載。

### 2 神戸市立自然の家リニューアル事業

#### 【事業の概要】

神戸市立自然の家の機能を強化し、市民・外国人を含めた観光客が気軽に自然を学び、触れ合うことができる施設として活用することで、子どもたちへの自然体験等を推進するとともに、市民が神戸での暮らしを魅力的で楽しいものであると感じることに寄与し、あわせて国立公園である六甲山・摩耶山エリアにおける交流人口の増加や地域活性化につなげることを目指す。

#### 【令和5年度の取組】

##### ○令和5年度

・宿泊棟のリニューアルに加え、日帰り利用者も楽しめる機能強化施設を整備する。

##### ○令和5年度KPI

##### ①施設利用者数

##### ②キャンプ事業利用者数（施設利用者数の内数）

##### ③みずうみナイトウォーク利用者数（施設利用者数の内数）

##### ④ネット予約システムによる予約に基づく利用件数

※令和5年度は、整備工事中のため、項目のみ記載。

### 3 国登録有形文化財を活用した「地域の賑わいづくりの場」の整備

#### 【事業の概要】

地域コミュニティの場として親しまれ、国登録有形文化財にも登録された旧駒ヶ林公会堂を、地域の貴重な資産として活用するため、外観を活かしたまみリノベーション（改修、耐震化）することで、「地域の賑わいづくりの場」として整備する。

#### 【令和5年度の取組】

○令和5年度

・旧駒ヶ林公会堂のリノベーション（改修、耐震化）を行う。

○令和5年度KPI

①駒ヶ林エリア内の人口

②駒ヶ林エリア外からの施設来館者数（年間延べ人数）

③駒ヶ林エリア内からの施設来館者数（年間延べ人数）

④駒ヶ林エリア内の路線価の前年度比増減率（代表地点）

※令和5年度は、整備工事中のため、項目のみ記載。

### 4 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場リニューアル整備事業

#### 【事業の概要】

2024年に開催される世界パラ陸上競技選手権大会に向けて、ユニバー記念競技場を障がい者を含めた多様性に配慮したインクルーシブな施設に改修することで、幅広いニーズの競技大会の誘致やスポーツ環境の向上、地域の活性化や来場者の増加に伴う経済波及効果に寄与する。

#### 【令和5年度の取組】

○令和5年度

・ユニバー記念競技場をインクルーシブな施設として改修する。

○令和5年度KPI

①競技場利用人数（入場者・参加者等を含む）

②全国規模の大会や他都市からの来場が見込まれるプロスポーツ試合の誘致件数

③競技場利用率

※令和5年度は、整備工事中のため、項目のみ記載。

## 5 海洋都市神戸としての基盤を活かした新産業「海洋産業」の振興

### 【事業の概要】

海洋都市神戸としての基盤を活かした海洋産業の振興を図るため、「神戸市海洋産業ネットワーク協議会（仮）」を立ち上げ、取り組みを加速させるとともに、海洋産業に関する企業研究開発部門の集積や大学・研究機関の集積、ベンチャー・スタートアップ企業の集積といった知の集積を目指す。

### 【令和5年度の取組】

#### ○令和5年度

- ・海洋産業の振興に向けた産官学連携
- ・海洋先進国との連携
- ・普及啓発・海洋人材の育成

#### ○令和5年度KPI（初年度のため、目標値のみ記載）

- ①神戸市海洋産業振興ネットワーク（仮）への企業の参画：10社増
- ②「海プロジェクト」及び産官学共同研究による新技術の実用化に向けた実証支援事業への申込：3件増
- ③体験型海洋イベントへの参加（高校生～大学生（大学院生））：10人増

## 6 須磨と淡路島を結ぶサイクリストを中心とした新たな海上観光ルート構築に向けた推進事業

### 【事業の概要】

観光地としての期待値が高まっている須磨海岸エリアの活性化や、淡路島との新たな観光ルート構築によるインバウンドの獲得を目指し、サイクリストを中心とした新たな観光ルートの構築及び魅力のプロモーション事業を行う。

### 【令和5年度の取組】

#### ○令和5年度

- ・サイクリストを中心とした新たな観光ルートの構築
- ・新たな観光ルートのプロモーション事業

#### ○令和5年度KPI（初年度のため、目標値のみ記載）

- ①須磨・舞子エリアの観光客数：10万人増
- ②須磨と淡路島を結ぶ新たな観光ルートの利用者数：339人増
- ③須磨と淡路島を結ぶ新たな観光ルートの自転車での利用者：124人増
- ④レンタサイクル施設の利用者数：73人増

## 7 SDGsを原動力とした産業基盤強化プロジェクト

### 【事業の概要】（兵庫県との共同事業）

SDGsの達成に向けて取り組む県内中小企業の推進宣言を登録し、広く情報発信をすること等により、SDGsに関する具体的な取り組みの裾野を広げる。また、地場産業のブランド力強化や海外展開にあたっての商品開発等を支援し、地域における持続可能な事業創造を推進する。あわせて、先端技術に係る高度人材を確保し、デジタル技術を活用して効率的にSDGsの実現を図るため、育成プログラムの開発等を行うことで、イノベーションの核となる先端技術人材の県内集積の促進、産業の強化を図る。

### 【令和5年度の取組】

#### ○令和5年度

- ・SDGsの認知度向上、推進取組
- ・SDGsの活動展開、商品開発・ブランド化、海外展開を視野に入れた販路開拓への支援
- ・SDGs推進のためのDX人材等の育成

#### ○令和5年度KPI（初年度のため、目標値のみ記載）

- ・SDGsの取組が順調に進んでいる県内企業の割合：13.4%増
- ・ひょうごSDGs推進宣言を行った産地数：6産地増
- ・DX導入支援により実装に結びついた件数：0件増
- ・県内に本社を置く企業の海外進出数：1社増

## 令和4年度 企業版ふるさと納税 実績シート

## 1 こども本の森 神戸

## 【事業の概要】

基本コンセプトとして、「こどもたちが命の大切さを学び、豊かな感性と創造力を育む場」の提供を掲げ、都心の公園の中で自由に本にふれあうことで、神戸の歴史や文化に出会い、また震災の教訓から命の大切さを学んだり、創造力を育むことを目的として、東遊園地（南エリア）に公の施設として令和4年3月25日に整備。上記の内容を目的として、指定管理者による運営を行っている。

## 【令和4年度寄附実績】

8,553千円

## 2 神戸医療産業都市公益事業推進寄附金事業

## 【事業の概要】

- ・ふるさと納税制度を活用し、市HP等で応援したい団体を指定した寄附を募り、集まった金額の原則9割を神戸医療産業都市の推進に資する事業を行う公益法人に助成（具体的には下記団体の事業を助成）
- ・公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金による小児がん等の難治性小児疾患の患児と家族がともに過ごせる施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の管理運営
- ・公益財団法人神戸医療産業都市推進機構による先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用支援等

## 【令和4年度寄附実績】

9,000千円

## 3 こどもの未来支援プロジェクト補助金

## 【事業の概要】

児童養護施設等入所児童等に対し、施設入所児童の学用品の購入や新型コロナウイルス対応にかかる費用、児童の退所時の支援を行う費用等の補助を行う。

## 【令和4年度寄附実績】

2,000千円

#### 4 港島クリーンセンターを中心とした情報発信の場と実証フィールドの整備

##### 【事業の概要】

港島クリーンセンターの一部を水素事業の情報発信拠点として整備するとともに、隣接する建て替え用地も含めて、水素利活用事業の実証フィールドとして提供する。

##### 【令和4年度寄附実績】

10,000千円

#### 5 プラスチックごみ削減事業

##### 【事業の概要】

プラスチックの資源循環を一層進めるため、拠点回収・店頭回収等を通じて、リサイクルしやすい品目を重点的に回収することにより、合理的にプラスチック資源を循環させる「まわり続けるリサイクル」の取組みを実施する。同時にリサイクル技術の革新を目指す企業との協働により先進的な取組みを進める。

##### 【令和4年度寄附実績】

557千円

#### 6 循環型社会形成推進事業（人材派遣型）

##### 【事業の概要】

資源回収ステーションの展開や産学官の連携を通じて、持続可能なサーキュラー・エコノミーの推進や地域共生社会の実現に向けた取組を強化する観点から、パートナーとして協働する枠組みを構築するため、以下の内容に取り組む。

- ・産学官連携によるサーキュラー・プラットフォームの構築に関すること
- ・循環型社会形成の促進に資する環境整備に関すること
- ・資源回収ステーションにおける多様な活動の実施を通じた、健康寿命の延伸、多世代の社会参加の推進、互助共助の関係性の育成等に関すること
- ・その他循環型社会形成に関すること

##### 【令和4年度寄附実績】

4,623千円



## 7 KOBE里山SDGs戦略事業

### 【事業の概要】

神戸が目指すべき里山を実現するための方策を明らかにし、一人ひとりが里山の豊かな恵みを持続的に享受することを目的に策定した「KOBE里山SDGs戦略」に基づき、神戸市では里山を「知る」、里山を「まもる」、里山活動を「つなぐ・ひろげる」の3つの戦略で活動を実施。

令和4年度は寄附を活用して里山を「知る」戦略のうち、外来生物や有害鳥獣の問題や脅威、その対策等について知り、考え、行動につながるような普及啓発をするため、外来生物展示センターを整備した。

### 【令和4年度寄附実績】

1,000千円

## 8 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会

### 【事業の概要】

2024年5月17日～25日に開催される「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」の開催に際して実施する下記事業

- ・各国からのパラアスリートの移動支援や食事提供などの「おもてなし」
- ・スロープや手すりの設置など障害者に配慮した競技フィールドの提供
- ・パラスポーツの楽しさを多くの方へ広げる交流事業（市内・県内小学校等を対象とした出前事業、地域でのパラスポーツ振興事業等）

### 【令和4年度寄附実績】

5,400千円

## 9 神戸市分野特化型インキュベーション事業

### 【事業の概要】

・今後成長性が見込める、または神戸の産業と親和性のあるテーマ・分野に特化し、全国からスタートアップを集め、神戸で育て、市場に送り出す事業（インキュベーション事業）を行う者を誘致・定着させ、彼らが将来にわたり神戸でスタートアップを創出・吸引することを目的に、活動費補助を実施した。

・補助上限1,000万円※（補助率2分の1）、補助期間最長3年間（36か月）

※ただし、企業版ふるさと納税による寄附金がある場合は、補助対象経費の範囲内に限り寄附金全額を加算し補助

### 【令和4年度寄附実績】

10,000千円

## 10 こうべ医療者応援ファンド

### 【事業の概要】

新型コロナウイルス感染症患者の治療や予防の最前線で昼夜を分かたず奮闘されている医療従事者に感謝と連帯の気持ちを表し、その活動を応援するため、ふるさと納税を通して受け入れた寄附金を、外郭団体が設置する「こうべ医療者応援ファンド」に拠出し、医療従事者への配分を行う。

### 【令和4年度寄附実績】

4,000千円

## 11 認定NPO等支援助成事業

### 【事業の概要】

認定NPO等に助成金を交付し、認定NPO等が行う社会課題・地域課題に取り組む活動を支援する。

### 【令和4年度寄附実績】

2,000千円

## 12 神戸三宮における自然の景の創造

### 【事業の概要】

神戸では、「自然と共に暮らす都市・神戸」を目指し、SDGs、グリーンインフラなどの考えを取り入れた新たな花と緑のブランド戦略「Living Nature Kobe—自然と共に暮らす都市・神戸—」を立ち上げ、都市の中に花と緑の高質な空間「自然の景」を創出することで、先進性のある花と緑のまちとしての神戸ブランドの形成を目指している。

都心三宮再整備では、先進性のあるデザインや新しい技術などを取り入れたガーデニングイベントの開催や、東遊園地において花のアート空間演出等、都市の中で自然を感じられるような神戸ならではの花と緑の魅力づくりを推進する。

### 【令和4年度寄附実績】

600千円

### 13 ノエビアスタジアム神戸および御崎公園のアップグレード

#### 【事業の概要】

御崎公園内にあるノエビアスタジアム神戸は、Jリーグヴィッセル神戸などのプロチームのホームスタジアムでもあり、神戸市内外から年間40万人超の観客が訪れる集客力の高い施設である。御崎公園及び当スタジアムは、再整備から20年を超え、トイレや遊具など、必ずしも現在の利用者ニーズに応えられていない設備や施設がある。

そこで、ふるさと納税を活用し、観戦環境の向上や遊具エリアの魅力化を行い、利用満足度の向上につながる改修を実施することを目的とする。

#### 【令和4年度寄附実績】

200千円

### 14 都市公園の再整備事業

#### 【事業の概要】

北区有野台・東有野台地区内12公園において、公園の利用促進に供する公園情報看板を整備

#### 【令和4年度寄附実績】

1,000千円

### 15 こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト

#### 【事業の概要】

- ・女性の再就職・キャリアアップ支援セミナーを10回開催。
- ・セミナー参加者や女性向けコワーキングスペースの利用者を対象に、情報共有や交流の場として、交流会を8回を開催。
- ・女性同士のネットワーキングのため、SNS（Facebook・Instagram・Twitter）を開設し、セミナーや相談情報を配信。
- ・男女共同参画センターウェブページ内で、女性活躍セミナーや相談事業、女性ロールモデルの紹介等を行った。
- ・属性ターゲティング広告（Facebook・Instagram・Twitter・YouTube）を通じて、コワーキングスペースや実施事業の広報を実施。

#### 【令和4年度寄附実績】

3,700千円

## 16 循環型社会への貢献、脱炭素社会への貢献

### 【事業の概要】

#### 【循環型社会への貢献】

- ・下水処理の過程で回収されたリンを活用した「こうべハーベスト」の購入費用を補助し、地域資源循環の推進及び農業経営の安定化を図る。
- ・市内産飼料（稲わら・牧草等）の生産量の拡大と確保を図ることで、循環型農業を推進する。
- ・神戸里山保全モデル事業として、市民団体等と連携しながら、棚田環境の保全、山林・草原やため池の再生に取り組むことでOECM登録を目指す。

#### 【脱炭素社会への貢献】

- ・水素ステーションを整備する事業者へ整備費の一部を助成。
- ・他港に先駆けて神戸港の脱炭素化を進めるため、「カーボンニュートラルポート実証フィールド」として、民間事業者の挑戦的な取組みを支援し、荷役機械や水素船への水素供給などに関する調査検討を行う。
- ・石積み傾斜護岸などによる、親水空間を整備。今後、ブルーカーボン生態系を取り入れるなど、カーボンニュートラルに向けた取組みを進める。
- ・民間事業者の電気バス購入費用を助成。
- ・脱炭素などSDGs課題をテーマとして、解決できるスタートアップを募集、海外展開を支援。

### 【令和4年度寄附実績】

100,000千円